

平成 29 年度

事業報告書



社会福祉法人

寝屋川市社会福祉協議会

目 次

平成 29 年度事業の総括	1
1. 小地域福祉活動推進事業	2
2. まちかど福祉相談所拡充事業	9
3. 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業	14
4. ボランティアセンター事業	16
5. 福祉教育推進事業	23
6. 当事者組織支援事業	27
7. 家族介護者交流事業	30
8. 献血推進事業	31
9. 福祉有償運送事業	32
10. 車イス貸出し事業	37
11. 元気アップ介護予防ポイント事業	38
12. 救急医療情報キット普及事業	40
13. 福祉総合相談事業	41
14. 赤い羽根共同募金事業	43
15. 歳末たすけあい運動事業	45
16. 広報事業	49
17. 調査・研究事業	51
18. 地域包括支援センター事業	54
19. 生活困窮者自立支援事業	64
20. 生活福祉資金貸付事業	70
21. 生活緊急支援金給付事業	71
22. 日常生活自立支援事業	72
23. 善意銀行事業	75
24. 法人運営・基盤強化事業	76
25. 研修事業	86
26. 福利厚生事業	88
27. 大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営	88
28. 災害被災地支援活動	88
29. 地域福祉活動計画の策定	89

本文や表中表記の見方

- 本文の表中にある「△」表記は、マイナスを示します。
- 本文の表中にある(△7)等のカッコを付けた数字表記は、前年実績と比較しての増減を示します。
例えば、表のひとつの枠内に8(△5)とある場合は、平成29年度実績が「8」で、前年実績と比べて「マイナス5」であることを示しています。
- 同じく表中で使用する「ー」表記はゼロを指します。
例えば、表のひとつの枠内に6(ー)とある場合は、平成29年度実績が6で、前年実績も6であったため、前年比がゼロであったことを示しています。
- 本文にある「V」は「ボランティア」の略字です。
- 本文にある「VC」は「ボランティアセンター」の略字です。
- 本文にある「CSW」は「コミュニティソーシャルワーカー」の略字です。

平成29年度事業の総括

1 おもな成果

- (1) 市民や団体等の地域福祉活動の目標や連携、仕組みづくりを示す「第2次地域福祉活動計画（平成30～32年の3年計画）」を、さまざまな施設や団体、関係者の協力を得て策定しました。
- (2) もしもの災害に備え校区福祉委員会やボランティア部会と障害者団体協議会が連携し、合同避難所訓練や自分たちにあった災害対策について現状や課題について話し合い、これからの備えや地域づくりについて考えました。
- (3) 引きこもりがちだった方が就労準備支援から施設での体験を行い、就職に向けた一歩を踏み出す支援展開を築くことができました。
- (4) 大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会の連携推進モデル事業に、地域貢献委員会が中心となって高齢・障害・児童分野が協働し「チョット寄ってん家」の取り組み支援を行いました。

2 課 題

- (1) ひとり暮らし高齢者だけでなく、要介護状態の高齢者世帯や障害のある人など対象の拡大や、見守り体制の検討をしていく必要があります。
- (2) 多様化してくる福祉ニーズへの対応や地域共生社会づくりに向け、柔軟かつスピーディに対応するための企画や支援、ネットワークづくりに取り組む必要があります。
- (3) 地域福祉を推進するため、住民や福祉事業者などが地域福祉活動に参加・参画しやすい工夫や仕組みをつくり、地域福祉活動の担い手を増やす必要があります。

1. 小地域福祉活動推進事業

地域の高齢者、障害(児)者及び子育て中の親子等、支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を概ね小学校区(校区福祉委員会)で推進しています。

(1) 校区福祉委員会活動推進事業(全市レベルで行う校区福祉委員会に関連する事業)

①校区福祉委員長協議会の開催(開催回数:6回)

第1回 5月10日(水) 22校区出席

- (1) 平成29年度校区福祉委員長について
- (2) 人事異動について
- (3) まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について
- (4) 運転協力者(福祉・セダン)認定講習会開催要項について
- (5) 敬老記念式典における表彰者の推薦要領について
- (6) 緊急時安否確認に関する状況報告について
- (7) 会員募集中間報告について

【配布】ほんま、おおきに!!～ひろげようこころの輪～障がい理解ハンドブック(寝屋川保健所)

【配布】アル・ねや通信(寝屋川保健所)

【配布】小地域ネットワーク活動パンフレット「広がれネットワーク」(大阪府社会福祉協議会)

第2回 7月4日(火) 21校区出席

- (1) ひとり暮らし高齢者名簿の配布について
- (2) 敬老記念式典における表彰者の推薦状況と推薦後の流れについて
- (3) 赤い羽根共同募金運動実施要項について
- (4) 運転協力者現任研修会開催要項について
- (5) 第1回家族介護者交流事業開催要項について
- (6) 緊急時安否確認に関する状況報告について

【配布】平成29年度ひとり暮らし高齢者名簿

【配布】平成29年度ひとり暮らし高齢者名簿受領書

【配布】第1回家族介護者交流事業案内チラシ

【配布】平成28年度校区福祉委員会概況一覧

第3回 9月1日(金) 22校区出席

- (1) 歳末たすけあい運動実施要項について
- (2) ねやがわ市民ふくし講座「助けられ上手になろう」～今日からできるアンガーマネジメント～開催要項について
- (3) 第2回家族介護者交流事業開催要項について
- (4) ボランティア講座基礎Ⅰ「珈琲の美味しい淹れ方講座」開催要項について
- (5) ひとり暮らし高齢者調査人数修正について
- (6) 敬老記念式典の推薦結果について
- (7) 緊急時安否確認に関する状況報告について
- (8) “子ども食堂”応援プロジェクト平成29年度(下半期)助成実施要項について

【配布】平成 29 年度ひとり暮らし高齢者入院者名簿

【配布】ねやがわ市民ふくし講座チラシ

【配布】第 2 回家族介護者交流事業チラシ

【配布】ひきこもりについて考える市民セミナー～経験者の思いから学び、一歩を踏み出そう～チラシ

第 4 回 11 月 8 日（水） 21 校区出席

- (1) 社会福祉協議会会員募集実施要項について
- (2) まちかど福祉相談員現任研修会「誰もが安心して暮らせる地域へ」～がん患者の地域生活を支える視点から～開催要項について
- (3) 校区福祉委員指導者研修会「地域福祉活動のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう その2」開催要項について
- (4) ボランティア講座基礎Ⅰ「ようこそ！くすねキッチンへ」～作って、食べて、おしゃべりも♪～開催要項について
- (5) ボランティア講座基礎Ⅱ「音楽」の力を知る講座～ボランティアに新しい風を！サロン de マンボ♪～開催要項について
- (6) 福祉広報研修会「読まれる・伝わる広報紙をつくろう」～地域の魅力を発信し、愛される広報紙に～開催要項について
- (7) 寝屋川市地域福祉活動計画策定に向けてのヒアリングについて
- (8) 緊急時安否確認に関する状況報告について
- (9) 歳末たすけあい運動街頭募金日程について
- (10) ボランティア講座基礎Ⅰ「身近なことから始める！ボランティアを楽しむコツ講座」～あなたの気持ち、後押しします～開催要項について

【配布】社会福祉協議会会員募集実施要項

第 5 回 1 月 17 日（水） 22 校区出席

- (1) 第3回家族介護者交流事業開催要項について
- (2) 災害に備えた地域づくり講座「自分たちにあった災害対策をするには～熊本の教訓を生かす～」開催要項について
- (3) 子育てサロン担当者交流会～地域の親子に愛される場所へ～開催要項について
- (4) ボランティア講座シニア編「自助具製作」ボランティア講座～自助具は生活のパートナー～開催要項について
- (5) 生活困窮者自立支援事業実践報告会開催要項について
- (6) 赤い羽根共同募金運動の募金実績報告について
- (7) 歳末たすけあい運動の街頭募金の実績報告について
- (8) 移送サービス事業の現状について
- (9) 緊急時安否確認に関する状況報告について
- (10) 校区福祉委員指導者研修会「地域福祉活動のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう その2」日程変更について

【配布】ねやがわ☆子育てスタート応援クーポンチラシ(子育て支援課)

【配布】第3回家族介護者交流事業チラシ

【配布】第3回運転協力者認定講習会の参加者募集チラシ

【配布】第3回寝屋川ハート・アート展はがきとチラシ(Club E&T)

【配布】平成 28 年度 CSW 報告書

第 6 回 3 月 1 日（木） 22 校区出席

- (1) 平成 30 年度ひとり暮らし高齢者調査について
- (2) 校区福祉委員会各種書類の提出について
- (3) 歳末たすけあい運動募金の実績報告について
- (4) 平成 30 年度年間行事予定・地域献血日程について
- (5) 平成 30 年度福祉学習説明会の開催について
- (6) 平成 30 年度ボランティア講座(基礎Ⅰ)について
- (7) 緊急時安否確認に関する状況報告について

【配布】ひとり暮らし高齢者調査様式一式

【配布】命のカプセルあんしんと説明チラシ

【配布】緊急時安否確認(かぎ預かり)事業チラシ

【配布】ボランティア保険様式(申込用紙)

② 小地域ネットワーク推進委員会の開催（開催回数：2 回）

ふれあいサロン活動の情報交換や見守りネットワークについて意見交換を行いました。

第 1 回 12 月 13 日（水） 22 校区出席

- (1) 小地域ネットワーク推進委員会について
- (2) 各校区の個別支援活動（見守り活動）の取り組み状況について
 - ①見守り活動の工夫（協力員の確保、情報交換会の開催など）
 - ②ひとり暮らし高齢者以外の見守りにについて
- (3) 高齢者夫婦等への見守り活動状況調査について（依頼）
- (4) 子育てサロン担当者交流会について
- (5) 小地域ネットワーク活動の手引き（寝屋川市社協版）の作成について
- (6) 平成 29 年度小地域ネットワーク活動リーダー研修会について

第 2 回 3 月 16 日（金） 17 校区出席

- (1) グループ援助活動について
- (2) 意見交換
 - ①各校区グループ援助活動の「私たち〇〇な工夫をしています！」の共有と分析
 - ②グループ援助活動における「課題」と解決策の検討
- (3) 第 1 回推進委員会で示したアンケートの取り扱いについて

③ 子育てサロン担当者交流会（開催回数：1回）

校区福祉委員会の子育てサロンに携わる福祉委員やボランティアが、親子との楽しい場のつくり方を学び、相互の情報交換、交流を図ることにより、市域全体として子育てサロンの活性化を図りました。

実施日 3月12日（月）

会 場 保健福祉センター5階 多目的ホール

参加者 45名

内 容 講 義「親と子の楽しい場のつくり方～実践例を用いて～」
交流会「それぞれの活動状況や想いを共有」

講 師 寝屋川市福祉部子育て支援課・寝屋川市立こどもセンター
係長 新宮 由紀 氏、主査 国枝 香 氏

④ 校区福祉委員会ボランティア部会長会の開催（開催回数：6回）

部会長会では、校区の規模や組織の形態は違うが、お互いの情報交換をはじめ、課題を共有しながら共に解決策を探る場として開催しました。

第1回 4月25日（火） 23校区＋ボランティア相談員2人

- 〔1〕 ボランティア部会長会の役割について
- 〔2〕 平成28年度の活動報告・平成29年度活動計画について
- 〔3〕 ボランティア部会長会管外研修について
- 〔4〕 ボランティアセンターからのお知らせ
 - ① ボランティア講座（基礎Ⅰ）を共催する校区福祉委員会ボランティア部会の確認
 - ② ボランティア部会長会の連絡先・定例会開催日・VC通信配布数の確認

第2回 6月27日（火） 20校区＋ボランティア相談員2人

- 〔1〕 ボランティア部会長会管外研修について
- 〔2〕 校区ボランティア部会活動紹介（国松緑丘校区・成美校区）
- 〔3〕 ボランティアセンターからのお知らせ
 - ① ボランティア講座（基礎Ⅰ）の連絡
 - ② ボランティア体験プログラムの連絡

第3回 8月22日（火） 22校区＋ボランティア相談員2人

- 〔1〕 障害者団体協議会との合同避難所訓練について
- 〔2〕 校区ボランティア部会長会管外研修について
- 〔3〕 校区活動紹介（池田校区・梅が丘校区）
- 〔4〕 ボランティアセンターからのお知らせ
 - ① ボランティア講座（基礎Ⅰ）の進捗状況
 - ② その他

第4回 10月24日（火） 21校区

障害者団体協議会との合同避難所訓練

- 〔1〕 障団協 会長 丸山氏挨拶
- 〔2〕 各地区内で自己紹介

〔3〕福祉避難所とは？

〔4〕グループワーク

第5回 12月12日（火）19校区＋ボランティア相談員1人

〔1〕寝屋川市障害者団体協議会との合同避難所訓練について

〔2〕有田市社協 管外研修について

〔3〕ボランティアセンターからのお知らせ

・ボランティアセンターからのアンケートについて

第6回 2月27日（火）20校区＋ボランティア相談員2人

〔1〕ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕のふり返りと共催校区の募集について

〔2〕校区活動紹介（楠根校区・田井校区）

〔3〕各校区の活動計画について

〔4〕ボランティアセンターからのお知らせ

①第15回あいあいまつりのお礼

②障害児者を守る親の会バザー開催時の保育Vのスケジュール

③次年度の定期ボランティアの依頼

④ボランティア講座（シニア編）の告知

〔5〕福祉教育について

⑤ 校区福祉委員研修会の開催（開催回数：1回）

〔1〕校区福祉委員会指導者研修会

実施日 3月5日（月）

参加数 51人

内 容 地域福祉のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう その2

講 師 同志社大学 准教授 永田 祐 氏

⑥ 個別ケース検討会議の開催（開催回数：1回）

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が、校区の実情に合わせて有意義な方法を検討し、既存の会議や地域ケア会議等を活用して開催しました。

<南エリア>

日 時 1月31日（水）

会 場 南コミュニティセンター 多目的室

参加数 32人

内 容 「認知症の初期支援について」

⑦ 事例研究会の実施（開催回数：3回）

コミュニティワーク（CW）、コミュニティソーシャルワーク（CSW）を担う事務局職員の専門性の向上を目的として研究者を講師として実施しました。

- *（コミュニティワーク⇒）住民が地域生活を営んでいくうえで生じる様々な問題に、住民自身が主体的・組織的に取り組むとともに、問題解決に必要な資源の調達や連携を図っていく過程を援助する社会福祉の方法。
- *（コミュニティソーシャルワーク）支援を必要とする人に対して、地域を基盤とする活動やサービスを結びつけることや新たなサービスの開発、また、公的制度の活用も視野に入れた支援を総合的に行っていく個別支援の方法

〔1〕実施日

第1回 11月7日（火）

事例「経済的に余裕がないひとり暮らし高齢女性の生活支援」

第2回 1月12日（金）

事例「こだわりが強く、社会との接触を嫌う単身女性と近隣住民への関わり方」

第3回 3月28日（水）

事例研究会～CSW事業の検討会～

〔2〕講師 大阪市立大学大学院 講師 鵜浦 直子 氏

⑧ コミュニティワーク（CW）業務研究会（開催回数：3回）

校区福祉委員会活動を中心とした地域支援の事例研究を通じ、事務局職員として地域福祉の推進（福祉課題を抱える人を支える地域づくり）方策を探ることを目的として研究者を講師として実施しました。

〔1〕実施日

第1回 6月8日（木）

事例「新体制の校区福祉委員会活動における話し合いの場づくりとは」

第2回 12月5日（火）

事例「地域福祉活動計画の“作り方”」

第3回 3月5日（月）

事例「新体制まもない校区福祉委員会が発展していくには」

〔2〕講師 同志社大学 准教授 永田 祐 氏

⑨ 寝屋川ふくし発見プラン助成金事業（助成校区福祉委員会数：5校区）

校区福祉委員会が自主性・自発性、創意工夫を発揮して、新たな事業の立ち上げや充実を図ることを通じ「地域の福祉力」を高めていく。

<池田校区福祉委員会>

内容 子育てサロンの立ち上げに対する助成を行い、地域福祉活動の活性化に役立てた。

助成額 100,000 円

<田井校区福祉委員会>

内容 ふたり暮らし高齢者調査を実施するにあたって助成を行い、地域福祉活動の活性化に役立てた。

助成額 50,000 円

<第五校区福祉委員会>

内容 地域住民を対象に、福祉活動の情報習得及び理解を深めるため、「高齢者の健康とくらし」「障害者の理解」「AED 使用方法」についての啓発講座を開催した。

助成額 100,000 円

<和光校区福祉委員会>

内容 見守り活動の強化を図るため、見守り委員に門標と旗を作成・配布し、課題の早期発見に役立てた。

助成額 100,000 円

<堀溝校区福祉委員会>

内容 平成7年、平成19年に発行した「福祉マップ」に必要な情報を加え、「福祉マップ『堀溝校区はこんなまちⅢ』」として再発行し、校区内世帯に配布した。

助成額 100,000 円

2. まちかど福祉相談所拡充事業

地域における見守り・発見・相談・つなぎのセーフティネット体制づくりを行います。また、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは困難な問題に対し、新たなサービスや仕組みの開発を行うとともに相談の充実を図りました。

(1) まちかど福祉相談所の実施

① まちかど福祉相談所相談員養成研修会の実施

まちかど福祉相談所相談員として活動に関わる相談員を養成することを目的に実施した。

実 施 日 6月20日（火）、6月27日（火）、7月5日（水）

会 場 総合センター4階 第1研修室など

修了者数 27人

内 容 [1] まちかど福祉相談所の役割、福祉制度、相談窓口解説

[2] 話を聴くためのコミュニケーション技法を学ぶ

演習講師 アクトコミュニケーションズ 加藤 あや 氏

[3] コミュニケーション実践ふりかえり、まちかど福祉相談所の取り扱い例など

② まちかど福祉相談所相談員現任研修会の実施

まちかど福祉相談所の現任相談員を対象にスキルアップを目的に実施した。

実 施 日 12月4日（月）

会 場 保健福祉センター5階 多目的ホール

受講者数 65人

内 容 「誰もが安心して暮らせる地域へ」～がん患者の地域生活を支える視点から～

（株）VOL-NEXT 代表取締役 がん患者生活コーディネーター 曾我 千春 氏

③エリア別まちかど福祉相談所相談件数

対象者及び内容		西北	南	東北	西	東	西南	計
対象者	高齢者	9(△6)	52(16)	32(14)	148(108)	78(20)	32(9)	351(161)
	障害者	12(2)	11(△16)	3(△3)	4(△3)	4(4)	10(5)	44(△11)
	子ども	-(△2)	4(3)	3(2)	-(△1)	1(-)	2(-)	10(2)
	* その他	4(△23)	33(△13)	8(△2)	15(2)	8(△8)	15(3)	83(△41)
計		25(△29)	100(△10)	46(11)	167(106)	91(16)	59(17)	488(111)
相談内容	高齢者関係	11(△2)	56(14)	22(14)	147(119)	80(14)	36(17)	352(176)
	障害者関係	13(3)	14(△4)	6(1)	4(2)	12(11)	11(5)	60(18)
	子育て・子どもの教育関係	1(△1)	1(1)	3(2)	-(△2)	-(△1)	2(-)	7(△1)
	母子(父子)家庭関係	-(△1)	-(-)	1(1)	1(1)	-(△1)	-(△1)	2(△1)
	DV被害関係	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	ホームレス関係	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	外国人関係	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	福祉制度関係	8(△3)	40(25)	13(9)	24(10)	56(26)	24(7)	165(74)
	生活費関係	10(1)	13(△3)	5(2)	5(-)	11(4)	4(△3)	48(1)
	住宅関係	-(△2)	18(13)	10(-)	15(-)	16(9)	10(2)	69(22)
	地域福祉・V活動関係	4(△1)	6(-)	5(△2)	5(1)	6(1)	17(5)	43(4)
	健康相談関係	15(△1)	16(7)	11(3)	23(11)	51(32)	25(18)	141(70)
	その他	4(△1)	34(△28)	17(10)	61(32)	14(△9)	18(3)	148(7)
	計	66(△8)	198(25)	93(40)	285(174)	246(86)	147(53)	1035(370)
相談所開催日数		51(4)	69(1)	71(4)	82(-)	77(3)	72(-)	422(12)

* 相談内容「その他」の主な内容

障害者の理美容について、成年後見制度について、相続について、就労について、土地の売却について、畳の処分、猫の糞尿被害について、近隣トラブル、住宅前の溝の落ち葉について(清掃)、防犯灯の設置について、近隣住民による嫌がらせ、ゴミ不法投棄、騒音について、安否確認の相談、宗教について、自治会活動について、自作人形の売却について、多頭飼の猫の死骸について、移動について等

④ 校区别まちかど福祉相談（まちの保健室）相談件数

平成 25 年度より大阪府看護協会事業「まちの保健室」と連携協働し健康相談を実施している。

		梅が丘
対象者	高齢者	114(20)
	障害者	-
	子ども	-
	*その他	4(4)
計		118(24)
相談	健康相談に関すること	461(245)
	その他	-
計		461(245)
相談所開催日数		3(-)

(2) まちかど福祉相談所拡充事業の実施

まちかど福祉相談所の充実発展に各エリアが取り組んだ。

各エリア	主な取り組み
① 西北エリア 開催回数 51 回 (内出張まちかど: 4 回)	エリア内の 4 校区が共同で、西北まちかど福祉相談所を運営 ＜主な取り組み＞ ・ 西北まちかど福祉相談所 47 回(出張まちかど相談 4 回) 合計 51 回 ・ 西北まちかど福祉相談所運営委員会 3 回 ・ 地区サロンで地域支援活動 ・ 地区自治会で福祉研修 ・ 防災用装備品の紹介と操作体験 ・ 夏期集中見守り活動の進行 ・ 消費者被害を予防啓発する見守り新鮮情報チラシを用いた広報活動 ・ 出張まちかど相談（石津校区敬老のつどい、田井校区敬老月間合同サロン、木屋校区ふれあいまつり、北校区ふくしまつり） ・ 友呂岐中学校区地域包括支援センター圏域の施設、民生委員合同交流会
②南エリア 開催回数 69 回	堀溝校区、南校区、木田校区で、まちかど福祉相談所を運営 ＜主な取り組み＞ 南圏域まちかど福祉相談所でうちわ・カイロを用いて広報活動を実施 堀溝校区 ・ 堀溝ほほえみなんでも相談所 47 回 ・ 堀溝まちかど相談員連絡会 6 回 南校区 ・ 南なんでも福祉相談所 10 回 木田校区 ・ 木田校区まちかど福祉相談所 12 回

各エリア	主な取り組み
③東北エリア 開催回数 71 回	東北エリア 4 校区で東北エリアまちかど福祉相談所拡充運営委員会を設置し、まちかど福祉相談所を運営 <主な取り組み> ・ 東北エリアまちかど福祉相談所拡充運営委員会 1 回 ・ 第五まちかど福祉相談所 48 回 ・ 三井まちかど福祉相談所 23 回
④西エリア 開催回数 82 回 (内出張まちかど: 14 回)	西校区が実施しているまちかど福祉相談所と、エリア内の 4 校区が協働で池の里まちかど福祉相談所を運営。各自治会への出張まちかど相談所や第八中学校区地域包括支援センター内での福祉なんでも相談会を実施した。 <主な取り組み> 西校区まちかど福祉相談所 ・ 西校区まちかど福祉相談所 47 回 ・ 西校区出張まちかど福祉相談 5 回 ・ 西校区まちかど福祉相談所相談員連絡会 12 回 池の里まちかど福祉相談所 ・ 池の里まちかど福祉相談所 21 回 ・ 八中校区地域包括と共催の福祉なんでも相談会 9 回 ・ 池の里まちかど福祉相談所運営委員会 3 回 ・ 池の里まちかど福祉相談所相談員連絡会 4 回
⑤東エリア 開催回数 77 回 (内出張まちかど: 13 回)	梅が丘校区、中央校区、明和校区で、まちかど福祉相談所を運営 また、中央校区では各自治会への出張相談、東校区においては、いきいきサロンに出向き出張相談を行った。 <主な取り組み> 梅が丘まちかど福祉相談所 ・ 梅が丘まちかど福祉相談所 41 回 ・ 梅が丘まちかど福祉相談所相談員連絡会 6 回 ・ 梅が丘まちかど相談員管外研修会 1 回 東校区出張まちかど福祉相談所 ・ 東校区出張まちかど福祉相談所 7 回 中央まちかど福祉相談所 ・ 中央まちかど福祉相談所 12 回 ・ 中央出張まちかど福祉相談所 6 回 ・ 中央まちかど福祉相談所相談員連絡会 7 回 明和校区まちかど福祉相談所 ・ 明和校区まちかど福祉相談所 11 回
⑥西南エリア 開催回数 72 回	和光校区が実施しているまちかど福祉相談所と、エリア内の 4 校区が協働で西南エスポールまちかど福祉相談所を運営 <主な取り組み>

各エリア	主な取り組み
	和光校区まちかど福祉相談所 ・ 和光まちかど福祉相談所 48 回 ・ 和光まちかど福祉相談所連絡会 11 回 西南espoアールまちかど相談所 ・ 西南espoアールまちかど福祉相談所 24 回 ・ 西南espoアールまちかど相談所運営委員会 6 回 ・ 西南espoアールまちかど福祉相談所運営委員・相談員合同会議 2 回 ・ 西南espoアールまちかど福祉相談所運営委員・相談員管外研修会 1 回

(3) コミュニティソーシャルワーカー（CSW）連絡会の開催

個別の支援や地域の支援など、福祉課題を抱える人を地域で支える仕組みづくりのために、情報共有や問題解決の方策等について定期的に話し合いました。

開催回数 12 回

(4) 「福祉のまちづくりひろば」（福祉部主催）

地域福祉計画に基づく活動や事業を具体的に推進するため、市民、福祉関係者等が福祉課題について意見交換を行う

〔1〕 第 1 回

日時：8 月 19 日（土）

場所：保健福祉センター 5 階 多目的ホール

〔2〕 第 2 回

日時：11 月 18 日（土）

場所：保健福祉センター 5 階 多目的ホール

(5) CSWと地域包括支援センター社会福祉士との意見交換会

福祉課題の早期発見・重症化防止に向け、連携を深めるための意見交換会

日時：8 月 24 日（木）、9 月 29 日（金）

場所：保健福祉センター会議室 3-2、研修室 5

人数：6 人

3. 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業

ひとり暮らし高齢者の孤立死等の事故を予防することを目的とした緊急時安否確認(かぎ預かり)の仕組みを、全エリアの校区福祉委員会、市内 21 か所の福祉施設と協力して実施しています。内容は、65 歳以上で単身高齢者の内、利用を希望する人を対象に、玄関の鍵を預かり、緊急事態と思われるときに、鍵を使って家屋内に入り安否確認等を行うものです。

(1) かぎ預かり利用者数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

利用者数	新規申込	解約
660 人(73)	143	67

(2) 緊急対応の状況

対応件数 29 件（鍵使用 25 件／鍵未使用 4 件）

緊急対応時間帯	対応数
午前（8 時～12 時）	12
午後（12 時～17 時）	12
夜間（18 時～21 時）	5
深夜・早朝（21 時～7 時）	－
計	29

緊急対応の状況	対応数
救急搬送	6
死亡	2
在宅	4
外出中	3
鍵の紛失	12
その他	2
計	29

* その他は、「外出時にガスの元栓確認依頼」、「入院中に必要な物を取る依頼」

(3) かぎ保管協力施設 21 施設

法人区分	施設数
社会福祉法人	14
医療法人	3
株式会社	4
計	21

(4) 21 協力施設合同会議

第1回 11月 2日(木) 出席 16施設・寝屋川警察

〔1〕緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の現状について(報告)

〔2〕緊急時安否確認(かぎ預かり)事業 取り組みの経過及び緊急対応報告

〔3〕これからの事業展開について(意見交換)

(5) かぎ預かり事業への視察対応等

7月12日(水) 2人 豊能町社会福祉協議会

7月21日(金) 2人 大津市社会福祉協議会

10月16日(月) 201人 近畿ブロック地域包括支援センター・在宅介護支援センターセミナー
にて報告

11月7日(火) 4人 東京都狛江市議会行政視察

11月16日(木) 2人 四條畷市高齢福祉課

4. ボランティアセンター事業

市民のボランティア活動に対する理解と関心を高めるとともに、ボランティアの育成及び需給調整など活動の支援を行うことによってボランティア活動の効果的な推進を図っています。

(1) ボランティアセンター運営事業

① ボランティアセンター運営委員会の開催（開催回数：6回）

第1回 5月11日（木） 16人

※ボランティアセンター運営委員の交代について

〔1〕 ボランティアセンター通信 102号（5月1日号）発行（報告）

〔2〕 ボランティアセンター事業年間予定について（連絡）

〔3〕 登録ボランティア状況について（報告）

第2回 7月13日（木） 15人

※ボランティアセンター運営委員の交代について

〔1〕 登録団体の更新及び退会について

〔2〕 ボランティアセンター通信 103号（7月1日号）発行（報告）

〔3〕 ボランティア講座等開催について（連絡）

第3回 9月14日（木） 13人

〔1〕 ボランティアセンター通信 104号（9月1日号）発行（報告）

〔2〕 ボランティア講座等開催について（報告と連絡）

〔3〕 今後の『ボランティア』について その1（検討）

第4回 11月9日（木） 12人

〔1〕 ボランティアセンター通信 105号（11月1日号）発行（報告）

〔2〕 平成29年度ボランティア講座について（報告と連絡）

〔3〕 今後の『ボランティア』について その2（検討）

第5回 1月11日（木） 12人

〔1〕 ボランティアセンター通信 106号（12月20日号）発行（報告）

〔2〕 平成29年度ボランティア講座・各種会議等の報告

〔3〕 今後の『ボランティア』について その3（検討）

第6回 3月8日（木） 13人

〔1〕 ボランティアセンター通信 107号（3月1日号）発行（報告）

〔2〕 平成29年度ボランティア講座・各種会議等の報告

〔3〕 平成30年度のボランティアセンター事業について（連絡）

〔4〕 今後の『ボランティア』について その4（検討）

② ボランティア相談員連絡会の開催（開催回数：12回）

ボランティア活動希望者の相談や個人、施設等からのボランティア依頼、需給調整を行っています。週3回9人のボランティア相談員で対応しています。

開催日（出席者） 4月24日（7人）、5月22日（5人）、6月26日（6人）、7月24日（7人）、
8月21日（5人）、9月25日（5人）、10月23日（4人）、11月27日（5人）、
12月11日（6人）、1月22日（6人）、2月26日（4人）、3月26日（5人）

(2) ボランティア研修事業

①ボランティア講座（基礎Ⅰ）の開催（開催回数：3回）

ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕

講座名 『身近なことから始める！ボランティアを楽しむコツ講座』

～あなたの気持ち、後押しします～

共 催 桜校区福祉委員会ボランティア部会

開催日 11月5日(日)

会 場 保健福祉センター 5階 多目的ホール

参加数 16人

内 容 講義『身近なことから始める！ボランティアを楽しむコツ講座』

カフェタイム（参加者と桜校区のボランティア部会員の交流会・活動紹介）

講 師 棕木 美緒 氏（NPO 法人大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター）

ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕

講座名 「ようこそ！くすねキッチンへ～作って、食べて、おしゃべりも♪～」

共 催 楠根校区福祉委員会ボランティア部会

開催日 1月27日(土)

会 場 楠根南町公民館

参加数 16人 部員10人

内 容 サロン等で人気のメニューの調理実習

試食とお喋り

地域のボランティア活動の説明など

講 師 楠根校区福祉委員会ボランティア部会員

ボランティア講座〔基礎Ⅰ〕

講座名 珈琲の美味しい淹れ方講座

共 催 啓明校区福祉委員会ボランティア部会

開催日 1月28日(日)

会 場 対馬江公民館

参加数 15人

内 容 珈琲の美味しい淹れ方講座

啓明校区福祉委員会ボランティア部会活動紹介

講 師 高瀬 修一 氏（指定障害福祉サービス事業者 なにわの宮 所長）

啓明校区福祉委員会ボランティア部会員

②ボランティア講座（基礎Ⅱ）の開催（開催回数：1回）

ボランティア講座〔基礎Ⅱ〕

講座名 『音楽』の力を知る講座

～ボランティアに新しい風を！サロン de マンボ♪～

開催日 12月13日（水）

会場 保健福祉センター 5階 多目的ホール

参加数 60人

内容 講義：『音』を『楽しむ』とは？を知る

体験：音を聴く（耳）、音を出す（声）ことで得られる効果を知る

講師 金谷 ますみ 氏（日本音楽療法学会認定音楽療法士 金谷音楽&心理研究所 所長）

③ボランティア講座（シニア編）の開催（開催回数：1回）＜市からの委託事業＞

ボランティア講座〔基礎Ⅱ〕

講座名 『自助具製作』ボランティア講座

～自助具は生活のパートナー～

開催日 3月16日（金）

会場 保健福祉センター 5階 多目的ホール

参加数 40人

内容 講義：自助具とは？

体験：高齢者や障害者などの日常生活（動作）で困難なことを知る

身近な生活用品を加工してオーダーメイドの自助具を制作する

講師 小西 誠 氏（おかもと訪問看護ステーション 作業療法士）

岡本 健太 氏（おかもと訪問看護ステーション 作業療法士）

④ボランティア体験プログラムの実施（大阪府社協との共催事業）

実施日程	受け入れ施設	参加人数	参加日数
7月1日～9月30日	特別養護老人ホームロイヤルライフ天寿苑	-(△4)	-(△13)
7月1日～9月30日	デイサービスセンター寝屋川十字の園	-(-)	-(-)
7月1日～9月30日	ワークセンター小路	-(-)	-(-)
7月1日～9月30日	すばる・北斗福祉作業所	-(-)	-(-)
計	4施設	-(△4)	-(△13)

(3) ボランティアセンター通信の発行（発行：6回／各2,000部発行）

発行日	号	主 な 内 容
5月1日	102	里子を育てて36年 和光校区で『子ども食堂』オープン
7月1日	103	中学生ボランティア大活躍 V活動 方法あれこれ

9月1日	104	『敬老月間』特集 ボランティア保険のこと
11月1日	105	大きく育て『思いやり』の心 社協へ車いす寄贈
12月20日	106	大きく育て『ボランティア』の芽 仕事より優先したV活動
3月1日	107	ボランティアはじめての一步! 『チョット寄ってん家』へ寄ってみて

(4) ボランティア活動支援事業

① 活動に関する相談・援助の実施

活動依頼相談	246(6)
活動参加希望相談	21(△6)
各種情報提供	15(△12)
計	282(△12)

② ボランティアの育成・組織化の実施

ボランティアセンターへの相談者に地域や施設などでボランティア活動が始められるよう、また、継続して活動が続けられるよう個別相談に応じ個人ボランティアや組織の育成に努めました。

③ 活動に必要な場所の提供（ボランティアセンター室）

時間帯	計
午前	168(36)
午後	114(△2)
夜間	9(3)
計	291(37)

④ 学校等からの依頼に基づく調整

学校等からの依頼に基づき、ボランティアセンター主催のボランティア養成講座後グループ結成をした「わくわく未来塾」の活動を紹介し、日程調整などを行いました。

内 容	平和学習	伝承遊び	布ぞうり
件 数	4(-)	8(△5)	12(-)
参加者	324(△9)	498(△400)	40(△34)
スタッフ数	31(△5)	87(△59)	64(△8)

(5) ボランティア活動の需給調整の実施

(施設・団体分)

件 数	168(△1)
参加V数	1,317(△18)

(6) 登録ボランティアグループ連絡会の開催（開催回数：5回）

第1回 役員会 6月23日（金）出席 役員3人

- 〔1〕平成29年度『赤十字ボランティアフェスティバル』ブースの出店について
- 〔2〕今後の連絡会事業の検討
- 〔3〕寝屋川市地域福祉計画推進委員会委員の推薦について

第2回 8月1日（火）出席 29団体

- 〔1〕登録ボランティアグループ連絡会の規約について
- 〔2〕活動発表
- 〔3〕情報交換交流会

第3回 役員会 9月22日（金）出席 役員3人

- 〔1〕登録ボランティアグループ連絡会の会計について
- 〔2〕次回の登録ボランティアグループ連絡会について
- 〔3〕その他

第4回 11月14日（火）出席 20団体

- 〔1〕報告事項
 - ①河北ブロック交流会
 - ②登録ボランティアグループ連絡会の会計について
- 〔2〕次年度の連絡会について（にこにこボランティアまつり）
- 〔3〕活動発表

第5回 2月6日（火）出席 27団体

- 〔1〕報告事項（にこにこボランティアまつりについて）
- 〔2〕次年度の連絡会について（連絡会の定例化）
- 〔3〕活動発表

(7) 資材教材の貸出し

行政や学校、ボランティアグループや市民活動団体に対して貸出しを行いました。

① 教材用車イス貸出状況

件数	34（△2）
貸出台数	1,247（43）

② 教材用アイマスク貸出状況

件数	7(1)
貸出枚数	514(214)

③ 教材用擬似体験装具貸出状況

件 数	14 (1)
貸 出 台 数	273 (△25)

④ 教材用点字板貸出状況

件 数	9 (1)
貸 出 枚 数	1,640 (540)

⑤ 教材用ビデオプロジェクター貸出状況

件 数	88 (△1)
貸 出 台 数	101 (△2)

* 上記①～⑤貸出台数・貸出枚数は延べ数で記載

(8) ボランティアセンターに登録している団体・個人

団体：52 団体（1,133 人） 個人：48 人

(9) 社協職員向け災害支援訓練研修会

開催日 11 月 6 日（月）

会 場 保健福祉センター 5 階 多目的ホール

内 容 避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」による避難所運営机上訓練

参加者 40 人

講 師 摂南大学 教授 池内 淳子 氏

(10) 災害時に備えた地域づくり講座

「自分たちにあった災害対策をするには～熊本の教訓を生かす～」

開催日 2 月 15 日（木）

会 場 保健福祉センター 5 階 多目的ホール

内 容 講演「自分たちにあった災害対策をするには～熊本の教訓を生かす～」

参加者 74 人

講 師 摂南大学 教授 池内 淳子 氏

(11) 災害用主な備品状況

備品	H29 年配備数	配備済数	計
収納コンテナボックス	-	12	12
エアテント	-	3	3
簡易テント	1	-	1
ビブス (ベスト)	-	600	600
軍手	-	500	500
カゴ台車	-	4	4
折り畳み式リヤカー	-	3	3
蛍光灯	-	6	6
発電機	-	3	3
投光器	-	5	5
ヘルメット	-	50	50
チェーンソー	-	2	2
長靴	-	15	15
雨具	-	15	15
看板 (標示)	-	9	9
トランシーバー	10	-	10

5. 福祉教育推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、子どもから高齢者、障害者など社会福祉への関心を深め、ひとり一人が自分に出来ることを考え行動する力を育む活動を行っています。

(1) 福祉体験学習説明会の開催

学校関係者、校区福祉委員会を対象に、福祉体験学習ボランティア紹介や依頼調整に関わる説明会を行った。

開催日：5月8日（月）

会 場：保健福祉センター5階 多目的ホール・研修室5

参加者数：65人

(2) ボランティアグループ等に対応した福祉体験学習（実施回数：64回）

① 擬似体験学習（対応団体：うらしまさん・各校区福祉委員会）

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉 委員会	内 容		
						車イス 体験	視覚障害 体験	高齢者等 擬似体験
1	4月4日	市新任職員研修		30	-	○	○	○
2	4月5日	市新任職員研修			-	○	○	○
3	5月24日	南小	4年	64	南		○	
4	6月8日	南小	6年	70	南			○
5	6月12日	西小	6年	69	西			○
6	6月13日	木田小	4年	51	木田		○	
7	7月14日	桜小	4年	68	桜		○	
8	9月21日	神田小	4年	86	神田		○	
9	9月26日	楠根小	5年	30	楠根			○
10	9月26日	楠根小	3.4年	56	楠根		○	
11	9月28日	第五小	5年	167	第五	○		
12	9月29日							
13	10月3日	香里ヌヴェ ール学院小	5年	86	-	○		
14	10月10日	神田小	5年	81	神田	○		
15	10月11日	点野小	3年	89	点野		○	
16	10月13日	国松緑丘小	4年	57	国松緑丘		○	
17	10月17日	成美小	4年	42	成美		○	
18	10月20日	啓明小	4年	80	啓明		○	
19	10月24日	国松緑丘小	5年	63	国松緑丘	○		
20	10月26日	池田小	5年	105	池田	○		
21	10月27日	梅が丘小	5年	48	梅が丘	○		
22	10月31日	石津小	6年	63	石津	○		
23	11月1日	中央小	4年	78	中央		○	

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉 委員会	内 容		
						車イス 体験	視覚障害 体験	高齢者等 疑似体験
24	11月7日	中央小	5年	84	中央	○		
25	11月17日	成美小	5年	72	成美	○		
26	11月20日	同志社香里 中	1年	250	-	○		
27	11月21日							
28	11月24日	第五小	6年	185	第五			○
29	11月27日	東小	6年	89	東	○		
30	11月29日	梅が丘小	4年	55	梅が丘		○	
31	12月1日	香里ヌヴェ ール学院小	4年	66	-		○	
32	12月5日	木田小	6年	72	木田			○
33	12月7日	宇谷小	6年	62	宇谷			○
34	12月19日	点野小	6年	98	点野			○
35	1月16日	石津小	4年	52	石津		○	
36	1月19日	池田小	4年	101	池田		○	
37	1月23日	東小	4年	102	東		○	
38	2月2日	中央小	6年	76	中央			○
39	2月6日	桜小	5年	71	桜	○		
40	2月8日	香里ヌヴェ ール学院小	6年	77	-			○
41	2月9日	第五小	4年	68	第五		○	
計				3,063	延べ41	14	18	11

* 対応団体 うらしまさん⇒高齢者疑似体験ボランティアグループ

②点字 （対応団体：つくしの会）

No.	実施日	実施先		人数
1	7月10日	国松緑丘小	3年	59
2	10月2日	梅が丘小	4年	56
3	10月30日	桜小	3年	73
4	11月6日	木屋小	3年	93
5	11月20日	神田小	3年	78
6	12月4日	中央小	3年	93
7	1月22日	宇谷小	3年	67
8	2月5日	池田小	3年	85
9	3月12日	宇谷小	4年	66
計				670

* 対応団体 つくしの会⇒点訳ボランティアグループ

③障害のある当事者の話（対応団体：市身体障害者福祉会視覚部、石橋奈美氏）

No.	実施日	実施先		人数	対応団体	内 容	
						視覚障害について	介助犬について
1	10月5日	東小	3年	102	石橋奈美氏		○
2	10月12日	北小	3年	127	石橋奈美氏		○
3	10月17日	堀溝小	3年	48	視覚部	○	
4	11月17日	東小	5年	87	視覚部	○	
5	11月22日	香里ヌヴェール学院中	3年	53	石橋奈美氏		○
6	11月24日	桜小	2年	57	石橋奈美氏		○
7	11月28日	国松緑丘小	2年	55	石橋奈美氏		○
8	1月24日	西小	3年	58	石橋奈美氏		○
9	2月13日	六中	1年	245	視覚部	○	
10	2月14日						
11	3月5日						
計				832	延べ 11	3	6

④認知症の理解（対応団体：ほほえみ隊）

No.	実施日	実施先		人数
1	12月6日	一中	1年	166
2	2月1日	六中	1年	245
3	2月2日			
計				411

* 対応団体 ほほえみ隊⇒認知症予防普及委員会（ボランティアグループ）

(3) 校区福祉委員会単独で対応した福祉体験学習（実施回数：16回）

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉委員会	内 容		
						車イス体験	視覚障害体験	高齢者等擬似体験
1	9月25日	木屋小	4年	87	木屋		○	
2	10月5日	西小	5年	68	西	○		
3	10月6日	木屋小	6年	92	木屋			○
4	10月13日	田井小	5年	67	田井		○	
5	10月20日	西小	4年	61	西		○	
6	11月1日	木屋小	5年	85	木屋	○		
7	11月18日	明和小リバティフェスタ		600	明和	○		
8	11月15日	北小	5年	118	北			○
9	11月28日	北小	6年	114	北	○		
10	11月18日	堀溝小	6年	43	堀溝			○
11	11月25日	堀溝小	5年	45	堀溝	○		
12	11月29日	堀溝小	4年	45	堀溝		○	
13	11月30日	和光小	4年	151	和光	○	○	
14	12月1日	北小	4年	118	北		○	
15	12月5日	南小	5年	78	南	○		
16	12月13日	田井小	6年	89	田井	○		
計				1,861	延べ 16	8	6	3

(4) 福祉啓発を目的とした市民向けのシンポジウムの開催

開催日 10月11日（水）

会 場 保健福祉センター5階 多目的ホール

参加者 75人

内 容 「助けられ上手になろう！」～今日からできるアンガーマネジメント～

講 師 井上 泰世 氏（株式会社ナースハート代表取締役）

（一社）日本アンガーマネジメント協会認定

アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル

(5) 職員向け福祉教育研修の開催

開催日 12月6日（水）

会 場 保健福祉センター5階 会議室3-1・2・3

参加者 20人

内 容 「社協のもつ福祉教育の総合性について」

講 師 大阪教育大学 教授 新崎 国広 氏

6. 当事者組織支援事業

同じ福祉問題を持つ人たちを組織化し、問題の当事者という立場で悩みや問題の共有や問題解決を図るための活動、関係機関とのネットワークづくり等に取り組む当事者（ひとり暮らし高齢者の会・介護者の会）の支援を行っています。

(1) 組織運営の支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会

〔1〕ひとり暮らし高齢者の会連絡会の開催（開催回数：6回）

4月18日（火）	10人	平成28年度事業報告・決算報告について 平成29年度事業計画・予算（案）について 交通費の取扱いについて にぎわいバザーについて
6月20日（火）	10人	会長交流会の日程、開催場所について 各会の抱える問題点の考察について
8月10日（木）	10人	会長交流会のふりかえりについて リーダー研修会の開催について 各会の抱える問題点の考察について
10月17日（火）	10人	リーダー研修会について 各会における情報交換 にぎわいバザーについて
12月19日（火）	10人	ひとり暮らし高齢者の会研修会のふりかえり にぎわいバザーに向けての調整
2月20日（火）	10人	にぎわいバザーに向けての最終確認 平成29年度事業報告・決算報告について 平成30年度事業計画・予算（案）について

〔2〕ひとり暮らし高齢者の会役員会の開催（開催回数：5回）

5月24日（水）	5人	会長交流会について 各会の抱える問題点の考察について
9月27日（水）	5人	リーダー研修会について にぎわいバザーについて
11月22日（水）	4人	ひとり暮らし高齢者の会研修会について にぎわいバザーの準備物、役割分担の協議
1月24日（水）	4人	にぎわいバザーに向けて 編集委員会の日程調整
3月28日（水）	4人	にぎわいバザーのふりかえり 平成30年度に向けての意見交換

〔3〕連絡会ニュースの発行（発行：3回）

発行月	4月、8月、12月	発行部数	600部
-----	-----------	------	------

〔4〕会長交流会

7月27日（木）	11人	喜多八
----------	-----	-----

会員数	連絡会加入会数	
254 人(7)	10 会 (-)	平成 30 年 3 月 31 日現在

② 介護者の会

〔1〕 介護者の会理事会の開催（開催回数：12 回）

- 4 月 4 日（火） 9 人 リフレッシュ日帰りバスツアーのふりかえり
総会資料の内容の確認について
- 4 月 21 日（金） 8 人 総会資料の読み合わせ及び、役割分担についての打合せ
- 5 月 9 日（火） 9 人 総会開催に向けての最終確認について
- 6 月 6 日（火） 8 人 4 分会理事交代について 総会のふりかえり
- 7 月 4 日（火） 10 人 平成 29 年度会員動静について 会員の慶弔関係について
今後の会活動について
- 9 月 5 日（火） 10 人 下半期の事業について ボランティア保険の加入について
- 10 月 3 日（火） 9 人 研修会（介護保険事業）の開催について
新年交流会の開催について
ボランティア保険の加入について
- 11 月 7 日（火） 10 人 新年交流会に向けての意見交換
- 12 月 5 日（火） 8 人 新年交流会に向けての準備物などの最終調整について
リフレッシュ事業について
- 1 月 9 日（火） 11 人 新年交流会に向けての役割分担
リフレッシュ事業の開催場所について
- 2 月 6 日（火） 11 人 新年交流会のふりかえり
リフレッシュ事業の参加者応募について
- 3 月 6 日（火） 10 人 リフレッシュ事業の最終調整
平成 30 年度事業計画・予算（案）について

〔2〕 介護サロンの実施（開催回数：47 回 ／ 相談件数：電話相談 203 件 来所相談 6 件）

介護者の会会員や一般市民が、気軽に立ち寄って介護に関する相談ができる場として、毎週木曜日に介護サロンを実施しました。

〔3〕 認知症介護家族交流会の実施（開催回数：6 回）

4 月 21 日（金） 19 人参加、 6 月 16 日（金） 15 人参加、 8 月 18 日（金） 16 人参加
10 月 20 日（金） 18 人参加、 12 月 15 日（金） 14 人参加、 2 月 16 日（金） 8 人参加

〔4〕 「介護者だより」の発行（発行：1 回）

発行月 7 月 発行部数 800 部

〔5〕 分会活動の実施

会員を市内 6 ブロックに分け、分会ごとに会員懇談会・交流会等活動を行いました。

（分会活動開催回数・内容）

〔1 分会〕 12 回 役員会、会員懇親会、出前講座、忘年会

〔2 分会〕 2 回 会員懇談会

- [3 分会] 1 回 会員懇談会
- [4 分会] 8 回 会員懇談会 施設見学
- [5 分会] 10 回 会員懇談会、健康推進教室、健康体操、施設見学
- [6 分会] 4 回 出前講座、会員懇談会

〔6〕北河内 4 市介護者（家族）の会連絡会に参加

- 6 月 26 日（月） 2 人 大東市立総合福祉センター
- 10 月 30 日（月） 1 人 交野市立保健福祉総合センター
- 11 月 28 日（火） 6 人 交野市保健福祉総合センター

〔7〕大阪府介護者（家族）の連絡会に参加

- 6 月 5 日（月） 3 人 大阪府社会福祉指導センター
- 2 月 16 日（金） 4 人 阿倍野市民学習センター

〔8〕研修会（出前講座：社会全体で支える介護保険制度について）の開催

- 12 月 20 日（水） 10 人 社会福祉協議会会議室

会員数	正会員	36 人(△2)	準会員	74 人(△8)	賛助会員	57 人(△1)
	計	167 人(△11)	〔平成 30 年 3 月 31 日現在〕			

(2) コミュニティワークとしての支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会への支援

ひとり暮らし高齢者の福祉向上を図ることを目的とする当会の活動を役員と連携を図りながら包括的に支援しています。役員会及び連絡会を定例開催とし、情報交換を通じて各会の抱える問題の解決に向けてのサポートや、会の円滑な運営が行えるように協議し、会活動を運営していけるように支援を行っています。

② 介護者の会への支援

役員と協力し介護者家族の支援を目的とする活動をサポートしています。定例開催する理事会では役員と会活動についての情報交換、及び運営方法を共に考え協議を行っています。また、認知症介護家族交流会等の開催に協力、及び参加をはじめ、分会活動への参加を通じて、家族を介護されている市民や会員の負担を軽減できるような活動を円滑に行えるように支援を行っています。

7. 家族介護者交流事業(開催回数：3回)＜市からの受託事業＞

高齢者等を在宅で介護する家族のリフレッシュと交流を図ることを目的に実施しました。

- | | |
|----------|--|
| 第1回目：実施日 | 8月26日(土) |
| 会 場 | 保健福祉センター5階 多目的ホール |
| 内 容 | 第1部
「認知症ケアのお話」講座
講師：社会福祉法人 いわき会
グループホーム「第1 東神田の里」「第2 東神田の里」
センター長 上田 善通 氏
第2部 交流食事会 |
| 参加者 | 介護者 19人 協力者 2人 |
| 第2回目：実施日 | 11月20日(月) |
| 会 場 | 保健福祉センター5階 多目的ホール |
| 内 容 | 第1部
「介護が楽しくなるアロマセラピーとタッチケア」講座
講師：NPO法人関西アロマセラピストフォーラム
副理事長 宮里 文子 氏
第2部 交流食事会 |
| 参加者 | 介護者 9人 協力者 2人 |
| 第3回目 実施日 | 2月28日(水) |
| 行き先 | 大阪府貝塚市(松葉温泉など) |
| 内 容 | 交流食事会 |
| 参加者 | 介護者 16人 協力者 2人 |

8. 献血推進事業

各コミセンエリアの校区福祉委員会及び各種団体等の協力のもと、地域・団体献血を実施した。

また、赤十字血液センターが主体となり、寝屋川市内の事業所、学校、街頭にて献血を実施しました。

(1) 地域・団体献血の実施（実施回数：18回）

月日	会 場	主 催	受付数	採血数
5	16 京阪寝屋川市駅東口前	寝屋川ライオンズクラブ	46	41
	18 アルプラザ香里園	寝屋川中央ライオンズクラブ	38	30
6	2 イズミヤ東寝屋川店駐車場	東エリア4校区福祉委員会	21	21
	3 市立総合センター	寝屋川市歯科医師会	34	26
	26 アルプラザ香里園	西北エリア4校区福祉委員会	47	38
8	2 市役所本庁	北大阪赤十字血液センター	29	25
	29 イオンモール四條畷	南エリア4校区福祉委員会	35	28
9	15 エスポアール	西南エリア4校区福祉委員会	27	21
	19 成田山不動尊駐車場	東北エリア4校区福祉委員会	36	29
10	27 コーナン昭栄店	南エリア4校区福祉委員会	24	21
11	10 京阪寝屋川市駅東口前	東エリア4校区福祉委員会	42	38
	17 市立総合センター	西エリア4校区福祉委員会	38	29
12	18 アルプラザ香里園	西北エリア4校区福祉委員会	37	32
1	9 寝屋川市役所	北大阪赤十字血液センター	30	27
	18 京阪寝屋川市駅東口前	寝屋川中央ライオンズクラブ	21	18
2	13 和光小学校	西南エリア4校区福祉委員会	18	12
3	2 市立総合センター	西エリア4校区福祉委員会	26	25
	20 ビバモール寝屋川	東北エリア4校区福祉委員会	22	21
小計			571(△131)	482(△60)

(2) 事業所、学校、街頭献血の実績

区分	実施回数	受付数	採血数
事業所	43(10)	1,071(103)	970(151)
学 校	8(△1)	326(△120)	274(△80)
街 頭	32(5)	1,325(180)	1,198(250)
計	83(14)	2,722(163)	2,442(321)

9. 福祉有償運送事業

移動が困難な高齢者や障害者等を対象に、リフト付き車両による移送サービスを行いました。

(1) 移送サービス事業<市からの一部受託事業>

① 移送サービスの実施件数

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
予約件数(件)		320 (6)	319 (44)	299 (△14)	344 (27)	335 (14)	318 (19)
実施 件数	高齢者	149 (11)	124 (13)	136 (△2)	148 (13)	151 (8)	145 (18)
	高齢+障害者	56 (△10)	60 (3)	53 (△1)	57 (2)	57 (△5)	62 (2)
	障害者	38 (1)	45 (3)	40 (1)	37 (△1)	33 (△1)	31 (△10)
	その他	21 (4)	23 (△4)	22 (△1)	28 (1)	28 (12)	22 (5)
	合 計(件)	264 (6)	252 (15)	251 (△3)	270 (15)	269 (14)	260 (15)
V 参加数(人)		168 (△6)	168 (△8)	176 (△2)	176 (2)	164 (△14)	172 (-)
利用 目的	通院など	180 (5)	159 (12)	167 (△14)	180 (17)	184 (11)	182 (27)
	施設送迎	41 (△3)	53 (6)	43 (2)	51 (△1)	40 (△2)	43 (△4)
	行事参加	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	行楽	1 (1)	1 (△3)	- (△2)	- (-)	- (-)	- (-)
	その他	41 (2)	39 (-)	41 (11)	39 (△1)	45 (5)	35 (△8)
	合 計(件)	264 (6)	252 (15)	251 (△3)	270 (15)	269 (14)	260 (15)
稼働日数(日)		30 (-)	31 (-)	30 (-)	31 (-)	30 (△1)	30 (-)
走行距離(km)		5,342 (△121)	5,517 (216)	5,035 (△346)	5,397 (480)	5,538 (5)	5,540 (161)

		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
予約件数(件)		345 (18)	314 (△5)	300 (5)	303 (2)	267 (△14)	326 (9)	3,790 (111)
実施 件数	高齢者	138 (△13)	126 (△8)	125 (△3)	126 (△1)	114 (△3)	142 (11)	1,624 (44)
	高齢+障害者	68 (13)	53 (△17)	56 (10)	66 (16)	55 (4)	68 (8)	711 (25)
	障害者	36 (△3)	36 (△1)	26 (△10)	29 (△11)	27 (△11)	27 (△15)	405 (△58)
	その他	15 (△9)	32 (10)	24 (△2)	14 (△9)	15 (△10)	17 (△4)	261 (△7)
	合 計(件)	257 (△12)	247 (△16)	231 (△5)	235 (△5)	211 (△20)	254 (-)	3,001 (4)
V 参加数(人)		174 (2)	168 (△4)	160 (△2)	154 (△4)	150 (△10)	174 (-)	2,004 (△46)
利用 目的	通院など	184 (-)	161 (△6)	164 (1)	164 (1)	159 (3)	185 (20)	2,069 (77)
	施設送迎	39 (△4)	47 (1)	33 (△1)	38 (△4)	32 (△12)	38 (△16)	498 (△38)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
	行楽	- (-)	- (△2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (△6)
	その他	34 (△8)	39 (△9)	34 (△5)	33 (△2)	20 (△11)	31 (△4)	431 (△30)
	合 計(件)	257 (△12)	247 (△16)	231 (△5)	235 (△5)	211 (△20)	254 (-)	3,001 (4)
稼働日数(日)		31 (-)	29 (△1)	28 (-)	28 (-)	28 (-)	31 (-)	357 (△2)
走行距離(km)		5,281 (△103)	4,962 (△478)	4,681 (△44)	4,282 (△513)	4,155 (△350)	5,300 (59)	61,030 (△1,034)

② 移送ボランティアグループの育成・支援

〔1〕 移送ボランティア連絡会 7回

〔2〕 登録ボランティア数 42 人 (1) <運転 28 人、介助 11 人、事務 3 人>

③ 利用登録者数

区分	高齢者	高齢＋障害者	障害者	その他	計
登録者数	665 (△185)	300 (△21)	88 (△17)	58 (△21)	1,111 (△244)

*平成 29 年 7 月末 利用登録更新実施

④ 移送ボランティアグループ研修交流会

実施日 11 月 9 日 (木)

会場 健康福祉プラザ助さん・たくさん

参加者 17 人

内容 福祉用具の体験と活用方法を学ぶ

(2) 高齢者外出援助サービス<市からの受託事業>

公共交通機関を使用して外出することが困難な高齢者を対象に、市内6地区の運営委員会によるボランティアが、スロープ式軽車両による外出援助サービスを行いました。

①実施件数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
予約件数(件)		270(△32)	277(8)	273(△20)	320(34)	294(2)	299(△17)
実施件数	高齢者	241(△36)	245(4)	250(△15)	287(28)	253(△2)	272(△3)
	その他	- (-)	- (-)	- (△1)	- (-)	- (△6)	- (-)
	合計(件)	241(△36)	245(4)	250(△16)	287(28)	253(△8)	272(△3)
V参加数(人)		411(△45)	454(18)	421(△54)	470(28)	455(△28)	462(9)
利用目的	通院など	203(△37)	206(△3)	209(△8)	248(27)	217(△4)	226(△6)
	施設送迎	6(2)	6(3)	9(4)	4(△2)	5(△2)	6(△3)
	行事参加	- (-)	- (-)	1(1)	- (-)	- (-)	7(7)
	行楽	- (-)	- (-)	- (-)	- (△1)	- (-)	- (-)
	その他	32(△1)	33(4)	31(△13)	35(4)	31(△2)	33(△1)
	合計(件)	241(△36)	245(4)	250(△16)	287(28)	253(△8)	272(△3)
稼働日数(日)		122(△12)	131(13)	126(△8)	137(3)	125(△13)	132(3)
走行距離(km)		3,875 (△379)	3,983 (△69)	4,082 (△128)	4,914 (582)	3,757 (△474)	4,632 (589)

月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予約件数(件)		284(△23)	252(△67)	263(△22)	242(△16)	255(△31)	273(△4)	3,302(△188)
実施件数	高齢者	251(△27)	221(△52)	246(△13)	218(5)	218(△33)	249(△2)	2,951(△146)
	その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (△7)
	合計(件)	251(△27)	221(△52)	246(△13)	218(5)	218(△33)	249(△2)	2,951(△153)
V参加数(人)		443(△22)	405(△57)	415(△18)	392(12)	380(△46)	433(△14)	5,141(△217)
利用目的	通院など	208(△29)	185(△55)	203(△12)	186(7)	185(△29)	212(△1)	2,488(△150)
	施設送迎	15(10)	9(6)	8(7)	8(6)	8(7)	3(△5)	87(33)
	行事参加	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	8(8)
	行楽	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (△1)
	その他	28(△8)	27(△3)	35(△8)	24(△8)	25(△11)	34(4)	368(△43)
	合計(件)	251(△27)	221(△52)	246(△13)	218(5)	218(△33)	249(△2)	2,951(△153)
稼働日数(日)		124(△9)	121(△15)	122(△7)	118(2)	115(△9)	137(8)	1,510(△44)
走行距離(km)		4,133 (2)	3,581 (△464)	3,891 (△94)	3,636 (385)	3,439 (△227)	4,052 (35)	47,975 (△242)

②各種会議の開催

〔1〕各地区運営委員長会議の開催（開催回数：3回）

7月14日（金） 11人

- ア．運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討
- イ．運転協力者現任研修会の開催検討
- ウ．実務に関する確認
 - ・28年度事業報告・収支報告
- エ．各地区の活動状況報告

11月10日（金） 10人

- ア．29年度中間事業報告・収支報告
- イ．運転協力者現任研修会の報告
- ウ．運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討
- エ．実務に関する確認
 - ・年末年始の予約調整及び活動予定
- オ．各地区の活動状況報告

3月2日（金） 11人

- ア．運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催検討
- イ．実務に関する確認
 - ・29年度利用料の収支精算書の提出
 - ・車両点検の日程調整
- ウ．各地区の活動状況報告

〔2〕各地区運営委員会の開催（開催回数：19回）

東地区…1回、東北地区…3回、西北地区…1回
 西南地区…12回、西地区…2回、南地区…なし

③利用登録者並びに登録ボランティア

		西北	南	東北	西	東	西南	計（人）
利用登録者数		215 (32)	270 (52)	292 (47)	274 (31)	169 (27)	268 (45)	1,488 (234)
V 数	運転・介助	18(1)	15(1)	17(1)	30(3)	10(△5)	25(1)	115(2)
	事務	10(-)	4(-)	15(-)	9(-)	12(△1)	15(1)	65(-)

*平成27年度利用登録更新実施

(ボランティア数重複あり)

(3) 国土交通大臣認定運転協力者講習会の開催（開催回数：3回）

運転ボランティアの安定的な確保を図ることを目的に、国土交通省が定める認定講習会を開催しました。

開催日		有料 受講者	西北	南	東北	西	東	西南	移送	その他	計(人)
第1回	6月18日・25日	1	2	2	3	2		1	1		12
第2回	10月21日・28日		1	1		1			2		5
第3回	2月17日・24日							3			3

(4) 運転協力者現任研修会の開催（開催回数：1回）

実施日 8月24日（木）

会 場 保健福祉センター5階 多目的室

受講者 41人(外援/移送)

内 容 交通安全の講話、DVD鑑賞

講 師 寝屋川警察署 職員

10. 車イス貸出し事業

在宅で車イスが一時的に必要な人を対象に車イスの貸出しを行いました。

保有台数 69 台（自走式 46 台、介助式 22 台、リクライニング式 1 台）

(1) 月別貸出し状況

月	4	5	6	7	8	9	
件数	29(△6)	31(11)	26(△3)	24(6)	21(△2)	20(△7)	
月	10	11	12	1	2	3	計
件数	13(△18)	30(△2)	19(△8)	12(△9)	16(△2)	29(△8)	270(△48)

(2) 年齢別利用状況

年齢	49 歳以下	50～64 歳	65～74 歳	75 歳以上	計
件数	32(△6)	30(△22)	34(△17)	174(△3)	270(△48)

(3) 貸出し期間別利用状況

貸出期間	1 週間未満	1 か月未満	1～2 か月	3～4 か月	5～6 か月	計
件数	99(△25)	66(△21)	31(8)	23(△7)	51(△3)	270(△48)

(4) 利用目的別利用状況

利用目的	通院	散歩	日常	行事	その他	計
件数	101(△5)	15(△4)	83(△17)	53(△14)	18(△8)	270(△48)

1 1. 元気アップ介護予防ポイント事業 <市からの受託事業>

介護予防サポーターの養成のための登録研修を開催するとともに、サポーター・受入施設の双方から相談をうけサポート活動の需給調整を図っています。

(1) サポーター登録者数等

① 登録者数 (累計) 568 人 (56) *うち 29 年度新規登録者数 81 人

② 実活動者数 338 人 (15)

③ 活動内容別参加者数 (重複有り)

〔1〕 縫製、洗濯物の整理など日常生活を補助する活動……………	119 人
〔2〕 囲碁、将棋、書道など趣味を活かした交流活動……………	103 人
〔3〕 傾聴、話し相手などの活動……………	88 人
〔4〕 紙芝居、朗読などの活動……………	215 人
〔5〕 ゲーム、歌、歌体操などのレクリエーション活動……………	182 人
〔6〕 お茶出し、食堂での配膳などの補助活動……………	85 人
〔7〕 園芸、草刈りなどの補助活動……………	65 人
〔8〕 施設行事の手伝いなどの活動……………	15 人
〔9〕 その他施設における軽微かつ補助的な活動……………	11 人
計	883 人

(2) サポーター受入登録施設数

① 高齢者施設 106 施設 (9) <新規登録数: 9>

② 障害者施設 13 施設 (2) <新規登録数: 1>

③ 児童施設 20 施設 (1) <新規登録数: 1>

④ その他の施設 1 施設 (1) <新規登録数: 1>

計 140 施設 (13) <新規登録数: 12>

(3) サポーター登録研修の開催 (開催回数: 5 回)

開催日 5 月 15 日、7 月 10 日、9 月 11 日、11 月 13 日、平成 30 年 1 月 15 日

会 場 保健福祉センター5 階 研修室 5

参加者 83 人 (6)

内 容 介護予防サポーターとは

講師 京都光華女子大学 准教授 石井 祐里子 氏

(4) 登録サポーター実力向上研修の開催 (開催回数: 1 回)

登録者を対象としてサポーター活動のスキルアップを図ることを目的に開催しました。

開催日 10 月 10 日 (火)

会 場 保健福祉センター 5 階 多目的室

参加者 登録サポーター 55 人

内 容 講 演:「種まきから幸せの花を咲かせよう!」～園芸福祉活動を学ぶ～

講 師 園芸福祉ボランティア らぶ 代表 武井 林 氏

(5) 施設情報説明会の開催（開催回数：1回）

開催日 11月24日（金）
会 場 保健福祉センター5階 多目的室
参 加 登録サポーター 62人
内 容 介護保険のお話
施設情報説明会

(6) 登録サポーター交流会の開催（開催回数：1回）

登録サポーター同士の交流と親睦を深めることを目的に開催しました。

開催日 2月20日（火）
会 場 保健福祉センター5階 多目的室
参加者 登録サポーター 46人

(7) 需給調整

相 談	調 整	成 立	不成立
99(18)	99(18)	61(△9)	14(3)

(8) 介護予防ポイント転換交付金の交付

交付人数	314人 (10人)
延べ活動日数	10,931日 (△827日)
ポイント転換金額	2,107,200円 (66,200円)

12. 救急医療情報キット普及事業 <市からの受託事業>

平成 23 年度からひとり暮らし高齢者に救急医療情報などを記載した用紙を収納する「命のカプセルあんしん」を配付しています。そして、毎年春に行うひとり暮らし高齢者調査に伴う訪問の際に、定期情報更新を行います。

【キット配付・情報更新件数】

キット配付数	1,224	個
情報更新件数	8,215	件

13. 福祉総合相談事業

市民からのさまざまな相談や地域の支援に応じ、福祉サービスや関係機関との連携、各種社会資源へのつなぎ等を行い、問題の解決・改善を図りました。

地域福祉支援概要

(個人を支える社協の取り組み)

個別支援	移送サービス事業実施件数	3,001	件
	外出援助サービス事業実施件数	2,951	件
	元気アップ介護予防ポイント事業	883	件
	各地区まちかど福祉相談活動件数	1,033	件
	車イス貸出件数	270	件
	個別ケース総合相談	144	件*内訳別掲
	緊急時安否確認(かぎ預かり)事業契約件数	143	件
	生活困窮者自立支援事業	2,119	件
	生活福祉資金貸付事業	673	件
	日常生活自立支援事業	114	件
	個別支援件数	11,331	件
		(905)	

(地域を支える取り組み)

地域支援	各校区福祉委員会など	438	件
	校区福祉委員長協議会	144	件
	各校区ボランティア部会	48	件
	校区ボランティア部会長会	144	件
	福祉教育実施	80	件
	地域支援件数	854	件
		(81)	

(参考)CSW の地域支援頻度	1 月あたり	71.2	回
	1 月の CSW ひとりあたり	11.9	回

個別支援、地域支援合計	12,185	件
-------------	--------	---

事務支援	ボランティア保険事務	総合保険	263	件
		行事保険	660	件
		加入者数	3,088	人

※個別ケース総合相談 144 件の内訳概要

どこから	来所	45	電話、電子メールなど	75	出向いて	24
------	----	----	------------	----	------	----

相談者は	本人	36	家族	21	福祉委員会	41
	関係機関	39	知人など	7		

この内容は (複数回答あり)	見守り活動	71	ボランティア活動	17	個別ケース調整	32	社協の他の取り組み	14
	介護・健康など	55	障害・健康など	28	乳幼児・健康など	1	生活費など	38
	近隣のこと	23	法律に関すること	8	生き方について	25	その他	15

対応	終了	102	支援継続中	42
----	----	-----	-------	----

対応の内容は (複数回答あり)	福祉関係機関や福祉委員会と協議し、制度の活用や取り組みを検討した 又は、図った	89
	情報提供を行い、対応手順を示した。又は、共に対処した	97
	傾聴を行った	53

支援形態は (複数回答あり)	支援機関は明らかだが、CSWが支援した (他機関との連携、共同支援)	82
	主たる支援機関が未確定のため、CSWが支援した (切れ目なく支援を継続するため)	50
	制度のはざまを補うため、CSWが支援した (支援者の増援を求めるため)	35

14. 赤い羽根共同募金事業

赤い羽根共同募金活動を関係機関の協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図ります。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

10月1日に民生委員・児童委員を中心に街頭募金を実施したことをはじめ、自治会の協力のもと戸別募金、事業所募金の実施、市内の公立小中学校で学校募金の実施、社会福祉施設等で募金箱の設置など、全市的に募金活動を展開しました。

①募金実績額

(単位：円)

募金区分	29年度実績額	28年度実績額	前年度比
戸別募金	12,932,497	13,340,043	△407,546
事業所募金	843,075	749,033	94,042
学校募金	89,872	97,986	△8,114
職域募金	64,968	94,816	△29,848
街頭募金	96,332	101,960	△5,628
バッジ募金	356,000	404,000	△48,000
その他(※)	148,661	97,068	51,593
計	14,531,405	14,884,906	△353,501

※その他の内訳(社会福祉施設等の募金箱など)

②校区福祉委員会別募金額

(単位：円)

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	751,527	18,700	770,227
石津	151,239	-	151,239
宇谷	314,149	9,500	323,649
梅が丘	234,988	13,700	248,688
神田	531,425	40,200	571,625
北	688,856	43,300	732,156
木田	431,789	146,300	578,089
楠根	233,925	8,850	242,775
国松緑丘	431,476	200	431,676
啓明	512,626	12,020	524,646
木屋	573,614	42,100	615,714
桜	270,683	52,500	323,183
点野	593,543	70,660	664,203
成美	928,750	179,600	1,108,350

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
田井	363,137	27,100	390,237
第五	2,048,631	40,700	2,089,331
中央	578,996	66,125	645,121
西	395,105	17,700	412,805
東	836,530	1,900	838,430
堀溝	662,131	5,800	667,931
三井	264,814	3,600	268,414
南	616,067	40,700	656,767
明和	142,000	-	142,000
和光	376,496	1,820	378,316
計	12,932,497	843,075	13,775,572

(2) 共同募金配分結果

平成 29 年度に行われた共同募金等は、大阪府共同募金会にて審査され、以下の施設等に配分されました。

〔1〕 赤い羽根共同募金による配分 (1 件 11,042,895 円)

① 社会福祉協議会 11,042,895 円

(機関紙「虹」発行費用、校区福祉委員会が取り組む地域福祉活動への補助、移送サービス事業の運営費等、地域福祉推進のための事業に活用)

15. 歳末たすけあい運動事業

市政協力委員自治推進協議会など関係機関の協力や地域貢献委員会の施設、公立保育所等に募金箱の設置協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図りました。

(1) 募金実績額

(単位：円)

募金区分	29 年度実績額	28 年度実績額	前年度比
戸別募金	11,904,397	12,194,996	△290,599
事業所募金	877,600	988,400	△110,800
街頭募金	165,270	165,515	△245
その他	290,252	106,877	183,375
計	13,237,519	13,455,788	△218,269

※「その他」は社会を明るくする運動、施設、個人

(2) 校区福祉委員会別募金額

(単位：円)

福祉委員会	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	720,388	-	720,388
石津	145,571	-	145,571
宇谷	273,145	13,500	286,645
梅が丘	214,389	10,000	224,389
神田	478,854	23,000	501,854
北	743,216	42,500	785,716
木田	434,542	113,000	547,542
楠根	204,823	8,000	212,823
国松緑丘	390,344	-	390,344
啓明	494,378	80,000	574,378
木屋	496,538	59,100	555,638
桜	322,173	11,000	333,173
点野	552,094	34,000	586,094
成美	713,840	123,500	837,340
田井	351,812	21,000	372,812
第五	1,855,373	61,100	1,916,473
中央	568,429	29,000	597,429
西	371,354	144,000	515,354
東	766,737	-	766,737
堀溝	476,969	61,400	538,369
三井	277,770	500	278,270
南	561,012	39,000	600,012
明和	135,000	-	135,000
和光	355,646	4,000	359,646
計	11,904,397	877,600	12,781,997

(3) 配分実績

① 地域福祉活動に対する配分	11,726,596 円
② 生活緊急支援金給付事業への配分	20,000 円
③ 災害ボランティアセンター備品整備への配分	300,196 円
計	12,046,792 円

※〔地域福祉活動に対する配分〕の詳細は次のとおり

【校区福祉委員会】

(単位：円)

	地域福祉活動に 対する配分	ひとり暮らし高 齢者の福祉を増 進する事業への 配分	計
池田校区福祉委員会	391,312	143,100	534,412
石津校区福祉委員会	248,680	32,100	280,780
宇谷校区福祉委員会	287,464	42,600	330,064
梅が丘校区福祉委員会	237,520	75,000	312,520
神田校区福祉委員会	321,184	80,400	401,584
北校区福祉委員会	465,808	126,900	592,708
木田校区福祉委員会	329,560	129,900	459,460
楠根校区福祉委員会	219,016	42,900	261,916
国松緑丘校区福祉委員会	312,256	80,400	392,656
啓明校区福祉委員会	327,328	115,200	442,528
木屋校区福祉委員会	353,896	79,500	433,396
桜校区福祉委員会	326,824	100,800	427,624
点野校区福祉委員会	346,360	110,400	456,760
成美校区福祉委員会	323,776	137,400	461,176
田井校区福祉委員会	334,696	102,300	436,996
第五校区福祉委員会	587,920	163,500	751,420
中央校区福祉委員会	397,480	119,400	516,880
西校区福祉委員会	287,176	82,200	369,376
東校区福祉委員会	381,400	70,500	451,900
堀溝校区福祉委員会	260,560	55,500	316,060
三井校区福祉委員会	329,824	211,800	541,624
南校区福祉委員会	342,712	135,600	478,312
明和校区福祉委員会	270,160	62,700	332,860
和光校区福祉委員会	380,104	116,100	496,204
計	8,063,016	2,416,200	10,479,216

【当事者や家族の福祉団体】

(単位：円)

団体名	計
寝屋川市身体障害者福祉会	61,280
寝屋川市障害児者を守る親の会	34,400
寝屋川市肢体不自由児（者）父母の会	25,600
寝屋川市障朋会	30,400
寝屋川市精神障害者家族会	24,160
寝屋川市母子寡婦福祉会	74,400
寝屋川市原爆被害者の会	42,240
全国膠原病友の会大阪支部寝屋川会	24,960
神経筋難病患者家族の会「ひまわり会」	22,720
寝屋川市難病連絡会	24,320
計	364,480

【ボランティアセンター登録団体】

(単位：円)

団体名	計
S A 北河内百楽の会	5,200
S A 寝屋川連絡会	12,350
アスパラの会	9,750
うきうきわくわく音心の会	7,800
歌体操寝屋川グループ	7,150
園芸福祉ボランティアらぶ	15,600
大阪睦会	9,750
北河内傾聴ボランティア「14の耳」	24,050
家庭介護援助ボランティアほうれんそう	9,100
擬似体験ボランティアうらしまさん	11,050
北校区子育てサロンパッチワーク	9,100
京阪ナツメロ愛好会	20,150
手話サークルひびき	7,150
すみれの会	7,800
地域ボランティアなの花会	12,350
点訳ボランティアつくしの会	11,050
車椅子レクダンス普及会「矢車草の会」	13,000
げんき会	26,000
親子、家族、地域の絆を育む会	37,050
日曜大工ボランティアとんかちクラブ	9,100
寝屋川市身体障害者福祉会視覚部会	9,100
寝屋川市民たすけあいの会	45,500

団体名	計
ホームページ作成ボランティアくりっくねっと☆	9,100
ボランティア・みい	25,350
わくわく音楽隊	11,700
要約筆記サークル「バンビ」	11,700
リップルアンサンブルオーケストラ	15,600
朗読ボランティアにじの会	22,100
わくわく未来塾	16,900
天満天神の会	32,500
ブリッジこだま	9,100
おっとこまえの会	6,500
MOA健康生活ねやがわネットワーク	20,800
さつき会	13,650
美鈴会	15,600
ボランティアふるな	7,150
なんぼーず	5,200
写仏愛好会	3,250
大阪高齢者生活協同組合 北大阪センター	12,350
仲よし会	5,200
計	562,900

【寝屋川市介護者の会】

(単位：円)

団体名	計
寝屋川市介護者の会	320,000
計	320,000

16. 広報事業

市民に福祉サービスや福祉の情報を伝えることで、地域福祉に関心を持ち、理解が得られるよう工夫しさまざまな方法で情報発信を行いました。

(1) 機関紙の発行

① 機関紙「虹」の発行（発行：4回）

号/発行日 (部数)	主な内容
139号 5月1日 (115,000)	・ 平成29年度 事業計画と重点項目 ・ 特集 ひとり暮らし高齢者調査～調査から見守り活動を考える～ ・ 校区福祉委員会活動紹介 ～神田校区・和光校区～ ・ ボランティアセンターってどんなところ？／平成29年会員募集中間報告 ・ ボランティア活動紹介／緊急時安否確認に関する状況把握調査結果 ・ お知らせコーナー（募集、案内） ・ インタビュー 地域のヒト！（松岡 征夫さん／明和校区福祉委員会）
140号 8月1日 (115,000)	・ 平成28年度 事業報告と決算 ・ 特集 緊急時安否確認（かぎ預かり）事業 近所の見守りで救われた命 ・ 校区福祉委員会活動紹介 ～国松緑丘校区・第五校区～ ・ 始まりました！閉じこもり・介護予防の菜園プロジェクト ・ ボランティア活動紹介＜谷口 豊基さん＞ ・ シルバー110の取り組み（西北コミセンエリア） ・ お知らせコーナー（募集、案内） ・ インタビュー 地域のヒト！（栗原 柳次さん／西校区福祉委員会）
141号 11月1日 (115,000)	・ 歳末たすけあい運動が始まります！ ・ 校区福祉委員会活動紹介～堀溝校区・南校区～ ・ 子育てサロン「いけだっこ」がスタート ・ ボランティアグループほうれんそう30周年記念 ・ お知らせコーナー（募集、案内） ・ インタビュー 地域のヒト！（佐部田 貢一さん／国松緑丘校区福祉委員会）
142号 2月1日 (115,000)	・ 社会福祉協議会会員募集にご協力ください ・ 校区福祉委員会活動紹介～点野校区・西校区～ ・ 施設と一緒に！かぎ預かり事業 ・ ボランティア功労者の紹介（厚生労働大臣表彰・大阪府知事表彰受賞） ・ 募金へのご協力ありがとうございました ・ お知らせコーナー（募集、案内） ・ インタビュー 地域のヒト！（北野 冴子さん／成美校区福祉委員会）

② 広報編集委員会の開催（開催回数：8回）

本会機関紙「虹」発行のために広報編集委員会を開催しました。（主な案件：紙面内容の検討）

開催日及び参加人数 5月17日（水）3人、6月23日（金）7人、8月23日（水）7人、
10月4日（水）6人、11月15日（水）5人、12月20日（水）8人、
2月21日（水）8人、3月22日（木）8人

(2) 福祉広報研修会の実施

開催日 12月5日（火）、12月12日（火）

会 場 保健福祉センター5階 研修室5

参加者 19人（1日目）、22人（2日目）

内 容 「読まれる・伝わる広報紙をつくろう」～地域の魅力を発信し、愛される広報紙に～

講 師 増田 ゆきみ 氏（株式会社ペンコム 代表取締役）

(3) ホームページの運営

毎月第3月曜日、ボランティアグループくりっくねっと☆の定例会時に更新、その他必要に応じて随時更新しました。

寝屋川市社会福祉協議会 ホームページ

<http://www.neyagawa-shakyo.or.jp/>

17. 調査・研究事業

(1) ひとり暮らし高齢者調査の実施

本会・校区福祉委員会と民生委員児童委員協議会が共催で、65 歳以上のひとり暮らし高齢者数の調査を行いました。

[平成 29 年 4 月 1 日現在]

校区	65～74 歳		75 歳以上		計		ひとり暮らし 高齢者総数	ひとり暮らし高齢者数の内訳		
	男	女	男	女	男	女		入院者	未記入者	記入者数
池田	63	115	75	224	138	339	477(△1)	11	33	433
石津	9	28	19	51	28	79	107(5)	0	3	104
宇谷	9	60	13	60	22	120	142(△155)	1	20	121
梅が丘	17	88	37	108	54	196	250(9)	5	2	243
神田	15	64	41	148	56	212	268(6)	2	23	243
北	50	90	53	230	103	320	423(8)	11	13	399
木田	37	108	80	208	117	316	433(△1)	6	38	389
楠根	21	35	26	61	47	96	143(19)	2	13	128
国松緑丘	19	62	32	155	51	217	268(83)	5	5	258
啓明	57	102	49	176	106	278	384(41)	8	37	339
木屋	28	67	34	136	62	203	265(10)	1	15	249
桜	53	68	56	159	109	227	336(14)	11	7	318
点野	45	109	63	151	108	260	368(33)	4	12	352
成美	44	104	57	253	101	357	458(△1)	3	30	425
田井	52	96	51	142	103	238	341(25)	2	21	318
第五	53	116	66	310	119	426	545(17)	7	50	488
中央	37	70	65	226	102	296	398(△13)	25	13	360
西	24	58	36	156	60	214	274(△8)	3	7	264
東	20	34	33	148	53	182	235(△7)	10	10	215
堀溝	29	49	28	79	57	128	185(5)	4	11	170
三井	75	163	124	344	199	507	706(106)	11	47	648
南	61	107	74	210	135	317	452(-)	8	15	429
明和	12	46	20	131	32	177	209(△2)	26	0	183
和光	64	95	65	163	129	258	387(17)	5	14	368
計(人)	894	1,934	1,197	4,029	2,091	5,963	8,054 (210)	171 (△10)	439 (31)	7,444 (189)

(2) 緊急時安否確認に関する状況把握の実施

地域における孤立死の状況や異変の発見時や緊急対応時の問題点を明らかにするために状況調査を行いました。

① 校区別孤立死等の発見状況

校区	生前に発見	死後に発見	計
池田	-(-)	2(2)	2(2)
石津	-(-)	-(-)	-(-)
宇谷	-(-)	-(△1)	-(△1)
梅が丘	-(△1)	1(-)	1(△1)
神田	-(-)	-(-)	-(-)
北	1(1)	4(1)	5(2)
木田	2(1)	5(3)	7(4)
楠根	2(1)	1(-)	3(1)
国松緑丘	-(△1)	1(-)	1(△1)
啓明	-(-)	-(-)	-(-)
木屋	1(1)	2(1)	3(2)
桜	1(△5)	1(△2)	2(△7)
点野	1(△1)	1(△2)	2(△3)
成美	-(△1)	1(△3)	1(△4)
田井	-(-)	4(3)	4(3)
第五	-(△2)	2(1)	2(△1)
中央	-(△2)	-(△2)	-(△4)
西	1(-)	3(1)	4(1)
東	-(-)	-(△1)	-(△1)
堀溝	3(3)	-(△4)	3(△1)
三井	1(△3)	9(7)	10(4)
南	1(1)	-(△3)	1(△2)
明和	-(-)	1(1)	1(1)
和光	-(-)	-(-)	-(-)
計(人)	14(△8)	38(2)	52(△6)

② 対象者の年齢

年齢	生前に発見	死後に発見	計
50 歳未満	1 (1)	-(△1)	1 (-)
50 歳以上～65 歳未満	2 (2)	5 (3)	7 (5)
65 歳以上～75 歳未満	1 (△5)	11 (4)	12 (△1)
75 歳以上	10 (△6)	21 (△5)	31 (△11)
不詳	- (-)	1 (1)	1 (1)
計	14 (△8)	38 (2)	52 (△6)

③ 発見者

発見者	生前に発見	死後に発見	計
家族・親族	-(△3)	8 (△4)	8 (△7)
近隣住民	4 (△2)	9 (△2)	13 (△4)
友人・知人	1 (-)	2 (2)	3 (2)
福祉委員（民生委員含む）	5 (4)	3 (△1)	8 (3)
自治会役員	-(△1)	- (-)	-(△1)
新聞・宅配業者	-(△2)	3 (-)	3 (△2)
福祉サービス関係者	2 (△5)	9 (3)	11 (△2)
不 詳・その他	2 (1)	4 (4)	6 (5)
計	14 (△8)	38 (2)	52 (△6)

④ 発見までの日数（死後発見のみ）

発見までの日数	件数
死亡当日～死後 1 日	16 (3)
死後 2 日～ 3 日	5 (△4)
死後 4 日～ 7 日	4 (-)
死後 8 日以上	9 (2)
不詳	4 (1)
計	38 (2)

⑤ かぎ預かり利用契約の有無

かぎ預かり事業契約有無	生存	死亡	計
有り	5 (△8)	4 (1)	9 (△7)
無し	9 (-)	34 (1)	43 (1)
計	14 (△8)	38 (2)	52 (△6)

18. 地域包括支援センター事業<市からの受託事業>

第三中学校区、第八中学校区の地域包括支援センターの運営を行っています。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのため、市や介護、福祉、医療など地域の関係機関や団体等との連携協力の下、健康、生活、財産、権利などを守りながら生活を支えるためのしくみづくりを行っています。

(1) 総合相談・支援

高齢者に関する相談に対応するとともに、必要な支援を行い問題の解決・改善に努めました。

(相談経路)

	電話	来所	その他	計
三中包括	392(△14)	217(△25)	10(△65)	619(△104)
八中包括	299(△69)	132(△70)	10(△51)	441(△190)

(相談者の内訳)

【三中包括】

内 訳	件 数	内 訳	件 数	内 訳	件 数
本人	111(△43)	ケアマネジャー	82(9)	市役所	33(△3)
家族	238(△65)	サービス事業所	13(5)	その他	23(17)
知人・近隣	29(2)	医療機関	40(△9)		
福祉委員等	35(△3)	警察	1(△4)		
他包括	7(△10)	関係機関	7(-)	計	619(△104)

【八中包括】

内 訳	件 数	内 訳	件 数	内 訳	件 数
本人	71(△153)	ケアマネジャー	106(14)	市役所	21(△7)
家族	137(△7)	サービス事業所	5(△2)	その他	7(△4)
知人・近隣	17(△2)	医療機関	19(1)		
福祉委員等	36(△19)	警察	1(△1)		
他包括	5(△3)	関係機関	16(△7)	計	441(△190)

(相談件数及び内容)

内容	新規要支援者	介護保険申請	高齢者 二次予防	介護サービス について	ケアマネとの 調整	認知症 について	精神疾患 について	医療について	虐待関係	権利擁護	生活上の相談 (その他含)	計
三中包括	17 (△30)	126 (△11)	- (△5)	112 (11)	58 (△3)	24 (△17)	4 (△21)	4 (△3)	14 (-)	1 (△6)	259 (△19)	619 (△104)
八中包括	14 (8)	80 (-)	3 (3)	55 (△79)	36 (14)	12 (-)	2 (-)	2 (△28)	12 (△17)	13 (-)	212 (△91)	441 (△190)

(2) 介護予防ケアマネジメントの実施

① 「非該当」となった方への支援件数

平成 29 年度の制度改正により、要介護認定において「非該当」となった方で基本チェックリストを通じて、支援対象となった方について、地域包括支援センターがプラン作成を行いました。

	計
三中包括	-
八中包括	1

② 介護予防講座等の開催及び運営支援

平成 29 年度より、地域包括支援センター主催による介護予防の取り組みから地域主体による介護予防の取り組みへの働きかけ、支援をしています。

	主催	運営支援
三中包括	2	24
八中包括	17	27

(3) 権利擁護、高齢者虐待の防止・早期発見のための取り組み

継続的に高齢者虐待、権利擁護に対して関係機関と連携し様々な制度、サービスの調整等を行いました。（新規対応分）

	計
三中包括	10(△7)
八中包括	11(8)

(4) 包括的・継続的ケアマネジメントの支援

ケアマネジャーや介護保険事業所への支援を実施した件数（新規対応分）

① 困難ケースにおける助言・支援件数

	計
三中包括	26(3)
八中包括	15(△5)

② 地域との連携に向けた会議・研修会・広報啓発活動

【三中包括】 計 46 回（△21）

<市域> ・寝屋川市地域包括支援センター代表者会議・・・・・・・・・・・・・1回
 ・寝屋川市高齢者保健福祉計画推進委員会（地域包括支援センター運営協議会）
 ・・・1回
 ・病院協会MSW・包括意見交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
 ・認知症プロジェクト会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
 ・寝屋川市地域ケア会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
 ・認知症介護家族交流会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回
 ・総合事業に関する会議マニュアル会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8回

	・高齢者虐待専門部会	・	1 回
	・プロジェクト会議（認知症初期集中支援チーム実績報告）	・	1 回
＜西北圏域＞	・地域包括、CSW連携会議	・	12 回
	・西北コミセンまつり（2日間）：相談コーナー	・	1 回
	・介護者の会第1分会への参加	・	1 回
＜三中圏域＞	・運営推進会議（4施設）	・	4 回
	・住民講座「元気アップ体操サポーターの説明」	・	1 回
	・住民講座「高齢者の住まいについて」	・	1 回
＜北校区＞	・巡回サロンへの参加	・	6 回
	・北校区福祉まつり：相談コーナー	・	1 回
＜田井校区＞	・校区サロンへの参加	・	2 回
	・敬老のつどい：相談コーナー	・	1 回

【八中包括】 計 56 回（△11）

＜市域＞	・寝屋川市地域包括支援センター代表者会議	・	1 回
	・寝屋川市高齢者保健福祉計画推進委員会（地域包括支援センター運営協議会）	・	1 回
	・病院協会MSW・包括意見交換会	・	1 回
	・認知症プロジェクト会議	・	1 回
	・寝屋川市地域ケア会議	・	1 回
	・認知症介護家族交流会	・	1 回
	・総合事業に関する会議マニュアル会議	・	8 回
	・高齢者虐待専門部会	・	1 回
	・プロジェクト会議（認知症初期集中支援チーム実績報告）	・	1 回
＜西圏域＞	・地域包括、CSW連携会議	・	14 回
	・西コミセンまつり：包括PR	・	1 回
	・介護者の会第3分会への参加	・	1 回
＜八中圏域＞	・西・点野健康&まちかど相談会	・	6 回
	・住民講座「消費者被害について」	・	1 回
	・住民講座「終活について」	・	1 回
＜点野校区＞	・点野校区民生委員児童委員協議会（包括の説明）	・	1 回
	・地区サロンへの参加	・	4 回
	・ふれあいリビング（健康相談）	・	3 回
＜西校区＞	・地区サロンへの参加	・	8 回

(5) 地域ケア会議

医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスなど専門多職種の協働のもと、公的サービスのみならず他の社会資源も積極的に活用することができる連携の場として日常生活圏域及び包括圏域内で開催しました。また、介護予防支援として自立支援を促す為、「自立支援型地域ケア会議」が新たに位置づけられました。

【三中包含】

自立支援型地域ケア会議 <基本 月2回開催>

平成29年度の制度改正を受け、要支援1・2の新規及び更新プランの内、デイサービス及び身体介護を伴うホームヘルプサービスを必要とするプランは、「自立支援型地域ケア会議」に諮ることになりました。

開催回数	件数
19	24

個別課題解決型地域ケア会議関係 <9回(△4)>

No	主たる項目	出席機関団体 (包括以外)	方針・結果
1	脳出血後リハビリ中の患者が、退院後社会復帰を目指すための支援方法を検討	ケアマネジャー・本人・PT・OT・看護師	対象者の現状と課題が共有でき、服薬管理や介護サービスの調整を行うなど支援の方向性を確認する。
2	祖父母と孫が同居しているが、祖父は認知症であり、そのことが中学生の孫に影響しており、今後の介護負担の軽減と費用負担について検討	中学校教諭・家族	介護サービスの利用と生活保護も視野に入れた金銭的援助に関して、別居の長男を交えて検討していくことを確認する。
3	発達障害の娘の自立のため、同居している統合失調症の母親の介護保険サービス利用と今後の支援方法の確認	ケアマネジャー・介護保険サービス事業所・看護師・障害者支援センター	今後の娘及び母親の支援の方向性の確認及び関係者の役割分担を行う。
4	食事制限が守れない高齢者の対応について、支援する専門職と地域の関係者における今後の支援方法の確認	ケアマネジャー・介護保険サービス事業所・民生委員・地域住民	専門職及び地域で可能な範囲で支援と見守りを継続し、家族も含めて食事や金銭管理等に注意し、後日再度評価会議を行う。
5	精神疾患により生活面や地域との課題があり、民生委員とケアマネが連携を図る。	ケアマネジャー・民生委員	金銭管理等の現状と課題を共有し、それぞれの立場で課題について対応し連携していくことを確認する。
6	同居の娘が自立し家を出た時を想定して本人の対応力の検討及び今後の方向性の検討	ケアマネジャー・介護保険サービス事業所・障害者支援センター	本人と娘の双方支援者間で情報と支援方法の共有を行う。
7	家族全員に課題があり支援が必要。関係機関の役割や支援の状況を確認し、緊急時の対応方針の検討	ケアマネジャー・子どもを守る課・中央子ども家庭センター・中学校教諭・高校教諭	関係機関の支援状況やリスクを共有することで、総合的に家族の状況を把握することができ、今後も状況を見守り生活環境に変化があった場合再度関係機関で情報を共有する。

No	主たる項目	出席機関団体 (包括以外)	方針・結果
8	認知症と精神疾患も疑われる状況で支援を必要としているが介入が困難。今後の対応について検討する。	オレンジチーム・保健所	関係機関で課題を整理することができた。本人の安否確認を第一とし、今後保護課との連携を考える。
9	退院後の生活の場について検討するため関係者間で状況を確認する。	生活保護課・居住物件管理者・居住物件オーナー	本人の現状と居住物件が立ち退きになる状況を共有し、退院後は状態に合わせた住宅や施設に転居する方向性を検討。

ネットワーク型地域ケア会議関係 < 8 回 >

主たるテーマ	回数	出席機関団体 (包括以外)	会議の主な内容
< 西北圏域 > 利用者支援のための訪問看護事業所との連携	1	・ 居宅介護支援事業所 ・ 訪問看護事業所	圏域内の訪問看護事業内容と各事業所の特徴をケアマネに理解してもらう。
< 西北圏域 > 一人ケアマネ情報交換会	2	・ 居宅介護支援事業所	一人ケアマネが日頃疑問に思っていることや悩みなどを気軽に相談できる場
< 西北・南圏域 > 総合事業に関する現状と課題	1	・ 高齢介護室 ・ 居宅介護支援事業所 ・ 通所介護事業所 ・ 訪問介護事業所	4月から施行された総合事業の状況を高齢介護室から説明。事業所で疑問に思っている点等についての意見交換を行う。
< 西北・南・西南圏域 > 医療分野の知識を深める	1	・ 病院 ・ 居宅介護支援事業所	病院医師から血液検査項目とその数値から推測される疾患、高齢者に多い疾患別にみる血液検査項目、医師から見るケアマネジャーに求める技術について講義。医療に関する知識を深める。
< 西北圏域 > 認知症の方の初期対応について考える	1	・ オレンジチーム ・ 校区福祉委員会 ・ 民生委員協議会 ・ 居宅介護支援事業所 ・ 介護サービス事業所	認知症初期集中支援チーム（寝屋川市オレンジチーム）の概要とケース対応事例について説明を受け理解を深める。 認知症の方への支援について地域連携について意見交換を行う。
< 西北圏域 > 利用者支援のための病院相談員との連携	1	・ 居宅介護支援事業所 ・ 病院相談員	医療と介護の連携がスムーズに行えるように、お互いの立場を理解するための意見交換を行う。
< 西北圏域 > 事例検討会	1	・ 居宅介護支援事業所	支援困難な事例に対して対応方法や解決方法を参加者全員で共有し今後の利用者支援に役立てる。

西北圏地域ケア会議<1回(一)>

月 日	参加機関等	主な内容
2 月 14 日	三師会・老人ホーム・ケア マネジャー・デイサービ ス・訪看・民協・介護者の 会、老人クラブ、社協 CSW 13 人	<テーマ> 「認知症の方への支援ネットワークについて」 <会議を受けての今後の取り組み内容等> ・認知症の方への支援につながるリーフレットづく り ・シルバー110の協力事業所を三師会へも依頼を行う

【八中包括】

自立支援型地域ケア会議 <基本 月2回開催>

平成 29 年度の制度改正を受け、要支援 1・2 の新規及び更新プランの内、デイサービス又は、身体介護を伴うホームヘルプサービスを必要とするプランは、「自立支援型地域ケア会議」に諮ることになりました。

開催回数	件数
20	43

個別課題解決型地域ケア会議関係 <9回(4)>

No	主たる項目	出席機関団体 (包括以外)	方針・結果
1	認知症により、配偶者への暴力等があり、入院の必要性について家族の理解を得る	ケアマネジャー・家族、親戚・訪問看護師	適切な治療の為に入院の必要性を説明し、入院することになった。また、支援者間の役割分担も明確になった。
2	精神疾患のある対象者への支援でケアマネジャーが相談を一手に引き受ける中、役割分担の必要性	ケアマネジャー・サービス事業所職員・医師・訪問看護師・家族	支援に対する不安の共有を行ない、支援機関、家族の役割分担を行い、医療的なアドバイスを受け、チームとして支援していくことを確認
3	認知症により配偶者への暴力等により、入院したが、新たな不安と今後の方針決めが必要(1のケースの2回目)	ケアマネジャー・医師、看護師・病院 MSW・家族・親戚	認知症の正しい理解にむけた説明と入院中の様子の説明を受けることで一定の理解が家族にできた。家族として家で看たいという気持ちもあったが、症状等から施設入所の方向性の確認となった。
4	母親の介護について、子ども間での確執。介護に関する考え方の相違がある中で支援方針の統一を図る。	ケアマネジャー・精神科診療所相談員	子ども達の関係の把握とかかわり方について確認を行う。母親の主治医でもある医療機関とケアマネジャーとの関係の構築ができた。

No	主たる項目	出席機関団体 (包括以外)	方針・結果
5	認知症があり方の支援で遠方に住んでいる家族との意思疎通が不十分であったことがあり関係調整をする必要。	ケアマネジャー・サービス事業所職員・家族	市長申立てによる成年後見制度利用などの支援状況を説明し、家族の想いを傾聴する中で、緊急時の対応も含めた連絡方法などの確認ができた。
6	知人が介護、医療相談対応してきたが、負担となり、併せて退院が迫る中、主たる介護者である娘も不安がある。関係者による支援体制を作る。	知人・入院先病院 MSW、家族（娘）	本人の状態把握（高次脳機能障害）、退院時のタイミング、娘の気持ちの聴き取りを実施。娘家族の状況の把握により経済的困窮などの把握ができた。（継続支援）
7	経済的困窮から母親の入院費の未払いがある中で、母親の金銭管理をしている娘との関係構築を行う必要があった。（6のケースの2日目）	知人・入院先病院 MSW、家族（娘）	病院への支払が滞っている中、また病状としては転院は難しいとの確認の上、未払い分の費用について継続して包括が相談に乗ることを確認。介護保険利用の確認を行い、ケアマネジャーを探すことを確認（継続支援）
8	くも膜下出血により入院。親族情報などがなく、親族の把握ができたため、今後の退院後の支援について親族にも協力、理解していただく必要があった。	高齢介護担当課職員・親族（弟）	弟に本人の状態の説明と関連する制度などの情報提供を行う。弟として気持ちの把握ができ、成年後見制度利用も含め、引き続き支援者と弟と連絡を取り合うことの確認ができた。
9	団地のご近所の騒音問題で眠れないとの訴えについて関係者で共有と対応の検討	ケースワーカー、オレンジチーム、自治会長、民生児童委員、保健所職員、団地管理会社	団地からの排他的な転居ではなく、生活し続けることができるよう本人の気持ちを受け止めながら近所との折り合いをつけながら地域での役割分担について確認ができた。

ネットワーク型地域ケア会議関係 <9 回>

主たるテーマ	回数	出席機関団体 (包括以外)	会議の内容
<八中圏域> ネットワーク会議	4	居宅介護支援事業所、CSW	・地域資源マップの作成 ・CSW から校区福祉委員会活動についての説明 ・地域の生活実態について意見交換
<西圏域> おとしより 110 番実行委員会	3	ケアマネ事業書連絡会、デイサービス連絡会、CSW	高齢者の困りごとに早期対応できるよ「誰もが SOS を発信、受信しやすい地域づくり」に向けての啓発用ポスターづくりと今後の方向性の検討

主たるテーマ	回数	出席機関団体 (包括以外)	会議の内容
＜西圏域＞ おとしより 110 番プロジェクト 委員会	2	医師、薬剤師、 ケアマネ事業書 連絡会、デイサ ービス連絡会、 訪看、民協、介 護者の会、地域 協、社協 CSW	おとしより 110 番ポスター作製に向けて の内容の検討及び意見交換

西圏域地域ケア会議＜1 回（－）＞

月 日	参加機関等	主な内容
3 月 29 日	三師会・ケアマネジャー・ デイサービス・訪看・民協・ 介護者の会、社協 CSW 11 人	＜テーマ＞ 「地域の災害について」 ＜会議を受けての今後の取り組み内容等＞ ・災害（地震・水害）について出てきた意見の課題整 理

(6) 広報・啓発活動

包括支援センターの業務内容等を関係機関・団体、福祉委員会、来訪者に対して、ニュース
レター等を発行して情報発信を行いました。

包括名	発行月	発行部数	主な内容
三中包括	7	200	・ 西北圏域ネットワーク会議開催報告 ・ 西北圏域「シルバー110」事業開始 ・ サロン等地域活動の紹介
	11	200	・ 西北圏域ネットワーク会議開催報告 ・ 一人ケアマネ交流会開催報告 ・ インフルエンザの予防について ・ 地域の行事への参加報告
	3	200	・ 西北圏域地域ケア会議開催報告 ・ 西北圏域ネットワーク会議開催 ・ 一人ケアマネ交流会開催報告 ・ 住民講座「高齢者の住まいについて」開催報告
八中包括	7	200	・ 八中圏域ネットワーク会議開催報告 ・ 地域のサロン参加報告 ・ 菜園プロジェクト活動報告 ・ 包括支援センターの今後の予定
	12	200	・ 八中圏域ネットワーク会議開催報告 ・ 菜園プロジェクト活動報告

			・住民講座開催案内 ・和裁教室活動報告 ・地域のサロン参加報告
	3	200	・おとしより 110 番プロジェクト会議 ・菜園プロジェクト活動報告 ・和裁教室活動報告 ・地域のサロン参加報告 ・今後の予定

(7) 各包括独自の取り組み

<三中包括>

①西北圏域独自：高齢者支援の為にネットワークづくりとインフォーマルサポートの実施

西北圏域包括（三中・友中）の独自の取り組みとして、圏域内の居宅介護支援事業所と連携し、「徘徊高齢者サポートネットワーク」を実施し、事務局は三中包括が担っていましたが、新たにシルバー110（イチイチゼロ）の取り組みを平成 29 年 4 月からスタートすることを受けて、サポートネットワークの取り組みを終了しました。

協力事業所数	12(-)
登録者数	-(-)

②シルバー 110（イチイチゼロ）の取組み 依頼 78 事業所 協力 48 事業所

平成 29 年 4 月から西北圏域において、第三中学校区及び友呂岐中学校区地域包括支援センターと圏域内の介護保険サービス事業所等が連携し、高齢者の健康問題や介護保険サービスの利用に関して、身近な所で気軽に相談できる窓口のネットワークづくりをしました。協力の申し出があった事業所に「シルバー110(イチイチゼロ)」の標示を掲示してもらい、地域の高齢者等からの相談への対応と併せて、地域包括支援センターに連絡を入れてもらう、早期発見・早期支援に繋げる事業を開始しました。

<八中包括>

①菜園プロジェクトの共同実施 （実施回数 31 回 延べ参加者 51 人）

包括の敷地内を活用して菜園コーナーとして、介護予防、閉じこもり予防、居場所作りの一貫として、生活困窮者自立支援事業の就労準備支援事業の利用者と一緒に季節の作物の植え付け、収穫を行い調理実習をしました。

＊主な活動は、土づくり、苗の植付、水やり、草抜き、植木の剪定、作物の収穫、調理

＊収穫した作物：イチゴ、大根

(8) 地域包括支援センターの地域の拠点としての運用状況

高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センターの機能をより高めるため、地域の拠点として活用しています。

包括名	開放・利用状況
三中包括	西北まちかど福祉相談所（週1回） 西北高齢者外出援助サービス・予約受付会場（週1回）
八中包括	西・点野校区まちかど福祉相談所出張相談会 （4月～6月、9月～11月 6回） 太極拳教室（4月～5月 4回） 元気アップ体操教室（通年開催 23回）

(9) 介護予防支援事業の実施

要支援1・2と認定された人を対象に、予防プランの作成等を実施しています。

月	三中包括			八中包括		
	直作成件数	他事業所へ委託 件数(原案委託)	計	直作成件数	他事業所へ委託 件数(原案委託)	計
4	57 (4)	198 (10)	255 (14)	29 (△3)	185 (18)	214 (15)
5	52 (1)	197 (4)	249 (5)	33 (5)	184 (13)	217 (18)
6	51 (△4)	184 (-)	235 (△4)	39 (3)	193 (29)	232 (32)
7	50 (△4)	185 (7)	235 (3)	40 (2)	179 (27)	219 (29)
8	50 (△5)	180 (△5)	230 (△10)	42 (7)	174 (15)	216 (22)
9	48 (△7)	171 (△9)	219 (△16)	49 (17)	169 (13)	218 (30)
10	52 (△4)	178 (-)	230 (△4)	50 (14)	170 (8)	220 (22)
11	50 (△8)	172 (△6)	222 (△14)	56 (18)	172 (△4)	228 (14)
12	49 (△6)	177 (9)	226 (3)	60 (21)	166 (△2)	226 (19)
1	50 (△6)	171 (△5)	221 (△11)	53 (14)	160 (△9)	213 (5)
2	50 (△5)	171 (△8)	221 (△13)	57 (19)	164 (△3)	201 (16)
3	49 (△5)	175 (△5)	224 (△10)	45 (11)	168 (△13)	213 (△2)
計	608 (△49)	2,159 (△8)	2,767 (△57)	553 (128)	2,084 (92)	2,637 (220)

19. 生活困窮者自立支援事業 <市からの受託事業>

生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援事業、住居確保給付金、就労準備支援事業を実施。経済的困窮のみならず、ひきこもりや様々な事情で生活に困っている世帯に支援を行っています。

(1) 自立相談支援事業

支援プランを作成し計画的な支援を行っています。

① 問合せ・相談件数

月	4	5	6	7	8	9	
件数	156(52)	210(81)	234(34)	163(△5)	162(△36)	159(44)	
相談者数	36(16)	35(10)	32(4)	26(3)	31(11)	27(8)	
月	10	11	12	1	2	3	計
件数	164(-)	165(20)	200(72)	173(13)	189(50)	144(△18)	2,119(307)
相談者数	26(△8)	33(4)	17(△7)	21(△8)	22(△1)	36(16)	342(48)

② 相談に至る動機

	直接	広報紙	インターネット・新聞等	CSW・福祉委員	市窓口	関係機関	その他	計
件数	87(7)	4(△10)	17(9)	29(△2)	130(19)	56(19)	19(6)	342(48)

③ 相談経路

	電話	来所	アウトリーチ等	計
件数	688(210)	1,295(76)	136(21)	2,119(307)

④ 相談時間

	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上	計
件数	1,023(153)	806(174)	240(△25)	50(5)	2,119(307)

⑤ 相談者

	本人	家族	関係機関	福祉委員	その他	計
件数	1,763(370)	170(△57)	136(△27)	17(5)	33(16)	2,119(307)

⑥ 相談内容（重複有）

内容	生活費・医療費等の支払い	公的資金の貸付	住居確保給付金	就労相談	家族・近隣等の関係（ひきこもりの相談を含む）	緊急支援・制度について・その他（生活保護を含む）	計
件数	446(98)	511(△195)	83(△18)	892(225)	208(93)	512(17)	2,652(220)

⑦ 対応

	終了	継続	計
件数	490(△118)	1,629(425)	2,119(307)

⑧ 法に基づく事業等による支援の内訳

プランを立てて支援した件数 131 件 (50)

⑨ 支援内容（重複有）

内容	住居確保 給付金	就労準備 支援事業	就労訓練 事業 (中間的 就労)	自立相談 支援事業 による 就労支援	生活福祉 資金によ る貸付	生活保護 受給者等 就労自立 促進事業	その他 社協の事 業による 支援	地域貢献 委員会に よる支援	計
件数	9(△1)	26(6)	1(△1)	75(12)	8(△6)	60(9)	57(10)	13(10)	249(39)

* その他社協の事業による支援・・・生活緊急支援金の給付、善意銀行の食品等の払出し

* 地域貢献委員会による支援・・・施設における職場見学・体験・実習、入浴設備の利用

⑩ 支援調整会議の開催（開催回数：12回）

ケース会議で検討・共有したケースについて、プランの適切性の協議、支援提供者によるプランの共有、プラン終結時の評価、社会資源の充足状況の把握と開発にむけた検討を目的に、保護課と枚方ハローワークと月1回開催。支援するプランについての協議や、各機関の情報交換などを行いました。

第1回 4月26日(水) 6人

- 〔1〕4月におけるプランの状況
- 〔2〕学習支援事業について
- 〔3〕ねやがわシティステーションについて
- 〔4〕大阪弁護士会との連携について

第2回 5月24日(水) 5人

- 〔1〕5月におけるプランの状況
- 〔2〕学習支援事業について
- 〔3〕ねやがわシティステーションの利用状況
- 〔4〕大阪弁護士会・ファイナンシャルプランナーとの連携について
- 〔5〕H28年度就労準備支援事業利用者の実績報告

第3回 6月28日(水) 5人

- 〔1〕6月におけるプランの状況
- 〔2〕学習支援事業の進捗状況(申込み状況)について
- 〔3〕7月6日の大阪府市町村訪問について
- 〔4〕7月18日の庁内連携会議について
- 〔5〕枚方ハローワークより情報提供
- 〔6〕大阪弁護士会との連携(実績)について

第4回 7月26日(水) 5人

- 〔1〕 7月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔3〕 枚方ハローワークより情報提供(枚方マザーズ出張相談について)
- 〔4〕 障害の疑いのある人への就労支援について
- 〔5〕 大阪弁護士会との連携(実績)について

第5回 8月23日(水) 5人

- 〔1〕 8月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔3〕 枚方ハローワークより情報提供(管内の有効求人倍率について)
- 〔4〕 大阪弁護士会との連携(実績)について
- 〔5〕 地域貢献委員会の取り組みについて

第6回 9月27日(水) 5人

- 〔1〕 9月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の進捗状況・家計相談支援事業について
- 〔3〕 枚方ハローワークより情報提供(枚方マザーズ出張相談実績について)
- 〔4〕 大阪弁護士会との連携について
- 〔5〕 職業適性検査の実施について
- 〔6〕 就労準備支援事業における地域貢献委員会との連携について

第7回 10月25日(水) 5人

- 〔1〕 10月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔3〕 枚方ハローワークより情報提供(ねやがわシティステーション相談実績について)
- 〔4〕 大阪弁護士会の実績について
- 〔5〕 職業適性検査の実施報告

第8回 11月22日(水) 6人

- 〔1〕 11月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の進捗状況について
- 〔3〕 枚方ハローワークより情報提供(相談実績及び傾向について)
- 〔4〕 大阪弁護士会との連携について
- 〔5〕 家計相談支援の研修について
- 〔6〕 生活困窮者自立支援事業実践報告会について

第9回 12月26日(水) 5人

- 〔1〕 12月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の現状報告について
- 〔3〕 家計相談支援研修の実施報告
- 〔4〕 枚方ハローワークより情報提供(三市合同企業就職面接会について)
- 〔5〕 大阪弁護士会との連携について
- 〔6〕 生活困窮者自立支援事業実践報告会の案内

第10回 1月24日(水) 5人

- 〔1〕 1月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の現状報告について
- 〔3〕 住居確保給付金事業の添付書類の確認について
- 〔4〕 働くための支援施設『サポステ』見学会の案内
- 〔5〕 枚方ハローワークより情報提供(枚方マザーズ出張相談実績について)
- 〔6〕 大阪弁護士会との連携について

第11回 2月28日(水) 6人

- 〔1〕 2月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の現状報告について
- 〔3〕 住居確保給付金事業の文書の記載内容について
- 〔4〕 枚方ハローワークより情報提供(シニア対象説明会、介護職就職フェアの案内)
- 〔5〕 大阪弁護士会との次年度契約について
- 〔6〕 平成31年度に向けた話し合いについて

第12回 3月28日(水) 6人

- 〔1〕 3月におけるプランの状況
- 〔2〕 学習支援事業の現状報告、平成30年度募集時期について
- 〔3〕 枚方ハローワークより情報提供(職業訓練・就職セミナーの案内、相談実績について)
- 〔4〕 生活困窮者自立支援事業実践報告会の実施報告
- 〔5〕 大阪弁護士会の法律相談の実績報告

※支援調整会議におけるプラン協議(新規・中止・終了・再プラン)件数 190件(58)

(住居確保給付金13件、自立相談支援事業150件、就労準備支援事業26件、就労訓練事業1件)

⑪ 就労等に関する支援状況

新たに就労した人数 56人(24)

転職・雇用条件の改善によって増収した人数 2人(△5)

⑫ 生活困窮者自立支援相談事業(法律相談)

今年度、大阪弁護士会の協力を得て弁護士による法律相談を試行的に無料で月1回実施。
自己破産など受任した場合や相談が継続する場合には、弁護士事務所に同行して支援を行っています。

〔1〕 相談件数 39件

〔2〕 相談内容(重複あり)

- ・借金(自己破産等) 31件
- ・家事(離婚、家の処分等) 8件
- ・住宅立ち退き(強制執行等) 5件
- ・労働(解雇、賃金未払い等) 1件
- ・その他(保険金請求、近隣トラブル、自動車事故等) 6件

(2) 住居確保給付金事業

離職などにより住まい（借家）を失うおそれのある世帯に対し、家賃相当額を期限付きで支給（市が決定）。問合せや相談、申請受付、支給期間中に就職活動の状況を把握するための定期面談等を行っています。

支給期間は基本 3 か月間。一定の要件を満たせば 3 か月間を延長・再延長で支給。

①相談・問合せ	36 件（△14）	
②申請件数	7 件（1）	
③支給件数・総額	6 件（3）	424,000 円（△44,000 円）
④中止件数	2 件（2）	

(3) 就労準備支援事業

日常生活における自立、地域社会への参加及び就労に向けた準備として、社会体験、職場体験の場など支援プログラムを作成し支援を実施し、社会参加、就労に向けた支援を行っています。

① 支援プログラム内容及び回数

今年度は、グループ活動の他に第八中学校区地域包括支援センターと共同で取り組む「菜園プロジェクト」や、日常生活の自立を目的とした「からだ・きもち・くらし日記」（注1）のプログラムを加えて実施。また、地域貢献委員会の福祉施設等の協力を得て3つのコース（お役に立ち隊・やってみ隊・働き隊）を設定し就労に向けて支援をしています。

参加人数		内 訳 *重複あり						就労訓練事業 (中間的 就労)
		グループ 活動	お役に 立ち隊 コース (V体験)	やってみ 隊コース (職場体験)	働き隊 コース	菜園 プロジ ェクト	からだ きもち くらし 日記	
男性	11 (2)	6 (△3)	-(△1)	6 (6)	- (-)	4	-	1 (-)
女性	5(△1)	4 (△1)	1 (-)	2 (-)	- (△2)	-	3	- (-)
計	16(1)	10 (△4)	1 (△1)	8 (6)	- (△2)	4	3	1 (-)
実施回数		24 (-)	6 (△3)	32 (25)	- (△1)	31		12 (△2)
内 訳	地域ボランティア		1 か所 6 日		（注1）日記は、心身の状況やふだんの暮らしのようすなどを書くことにより、生活のリズムを可視化することで、支援方針を立て、就労や社会参加をめざした取り組みのひとつとして実施しています。			
	地域貢献委員会		-	4 か所 24 日				
	一般事業所			1 か所 8 日				

(4) 生活困窮者自立支援事業実践報告会(開催回数：1回)

実施日 3月13日(火)

会場 総合センター2階 講堂

参加者 208人

内容 第一部 実施報告「生活困窮者自立支援事業の概要と現状報告」
第二部 事例報告「他機関と協働して支援した事例紹介」
第三部 パネルディスカッション「生活困窮者支援を通じた地域づくりとは」

講師 花園大学 教授 川島 ゆり子 氏

報告者 民生委員・児童委員 倉橋 田鶴子 氏

地域貢献委員会会員施設特別養護老人ホーム寝屋川苑施設長 杵本 雅信 氏

社会福祉協議会 職員

20. 生活福祉資金貸付事業<府社協からの受託事業>

低所得者世帯等に対し、経済的自立及び生活意欲や社会参加の促進等を図ることを目的に、民生委員の協力を得て資金の貸し付けと必要な相談支援を行っています。

(1) 生活福祉資金貸付事業

① 相談件数

月	緊急小口資金	総合支援資金	臨時特例つなぎ資金	福祉資金 教育支援資金	不動産担保型 生活資金	計
4	24(6)	4(△7)	-(-)	28(10)	-(△1)	56(8)
5	13(-)	5(△14)	-(-)	34(2)	5(4)	57(△8)
6	30(△10)	8(△18)	-(-)	36(2)	8(1)	82(△25)
7	28(△18)	2(△24)	-(-)	32(4)	1(△4)	63(△42)
8	11(△20)	2(△27)	-(-)	26(△18)	5(1)	44(△64)
9	14(4)	1(△16)	-(-)	38(14)	3(-)	56(2)
10	18(2)	15(△1)	-(△3)	39(5)	3(1)	75(4)
11	16(1)	2(△4)	-(-)	30(6)	2(1)	50(4)
12	9(△7)	5(△3)	-(-)	29(12)	-(△1)	43(2)
1	23(13)	-(△16)	-(-)	19(△2)	3(-)	45(△5)
2	2(△11)	-(△1)	1(1)	44(2)	2(1)	49(△8)
3	12(7)	2(1)	-(-)	35(△5)	4(3)	53(6)
計	200(△33)	46(△130)	1(△2)	390(32)	36(7)	673(△126)

② 貸付件数

	緊急小口資金	総合支援資金	臨時特例 つなぎ資金
申請	12(△15)	3(△10)	-(-)
決定	8(△12)	3(△5)	-(-)
貸付決定額 (円)	605,000 (△1,007,000)	1,377,000 (△2,139,000)	- (-)

教育支援資金		福祉資金		不動産担保型 生活資金	計
生活保護世帯	低所得世帯	生活必需品 (注1)	福祉費		
17(△5)	22(12)	15(1)	3(△1)	4(3)	76(△15)
17(△4)	22(12)	11(△1)	2(△2)	2(2)	65(△10)
10,106,000 (△2,555,000)	16,494,000 (9,732,000)	694,000 (△18,000)	1,707,000 (223,000)	11,081,000 (11,081,000)	42,064,000 (15,317,000)

(注1)生活必需品とは、生活保護世帯を対象に健康管理や日常生活に著しい支障をきたす場合において、エアコンや冷蔵庫等の生活必需品を購入するための貸付金

2 1. 生活緊急支援金給付事業

歳末たすけあい運動の募金を財源に、必要やむを得ない緊急的かつ一時的な理由によって、生活の維持が困難な世帯に対し、支援金の給付と相談援助等の支援を行っています。

(1) 生活緊急支援金の給付

①月別給付件数及び金額

月	4	5	6	7	8	9	
給付件数	-(△4)	2(△2)	-(△3)	-(△3)	2(△2)	-(△1)	
給付金額 (円)	- (△36,000)	22,000 (△17,088)	- (△23,000)	- (△30,000)	24,200 (△23,800)	- (△8,000)	
月	10	11	12	1	2	3	計
給付件数	1(-)	-(△2)	-(△2)	1(-)	1(△1)	-(△4)	7(△24)
給付金額 (円)	1,000 (△6,000)	- (△23,000)	- (△17,000)	2,700 (△42,300)	16,175 (175)	- (△41,000)	66,075 (△267,013)

②生活困窮のおもな原因

失業	就労収入 減少	年金等 収入減少	疾病	扶養援助 喪失	その他	計
-(△5)	-(△1)	-(△1)	3(△12)	3(△2)	1(△3)	7(△24)

③世帯人員の状況

単身	2人	3人	4人	5人以上	計
3(△21)	3(2)	-(△3)	-(△1)	1(△1)	7(△24)

④申請者の年齢状況

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
-(-)	1(△2)	-(△2)	3(△3)	1(△11)	1(△5)	1(△1)	-(-)	7(△24)

⑤原資の状況

項目	件数	金額
① 前年度末原資残高		4,076,379 円
② 緊急支援金給付金支出	7 件	66,075 円
③ 歳末たすけあい募金助成金収入	1 件	20,000 円
④ 指定寄附金収入	-件	-円
⑤ 利息収入	2 件	40 円
年度末原資残高 (①-②+③+④+⑤)		4,030,344 円

22. 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)＜府社協からの受託事業＞

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が十分ではない方々に対して、日常的な金銭管理、福祉サービスの利用援助などの支援を行っています。

(1) 契約件数および支援回数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
前年度末契約数(A)	44(9)	13(-)	48(15)	105(24)
新規契約数(B)	6(△10)	4(-)	12(△4)	22(△14)
契約終了数(C)	11(4)	-(△4)	2(1)	13(1)
年度末契約数(A)+(B)-(C)	39(△5)	17(4)	58(10)	114(9)
年間支援回数	651(4)	394(33)	2,014(396)	3,059(433)
契約準備数	1(△1)	-(-)	-(△1)	1(△2)

※契約準備数は3月末時点より、2ヵ月後までに契約締結見込数

(2) 新規契約の相談経路

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
介護事業所	5(△8)	-(-)	3(2)	8(△6)
障害福祉課・保護課	-(-)	1(△1)	-(△3)	1(△4)
保健所	-(-)	-(-)	3(3)	3(3)
医療機関	1(1)	1(1)	3(△4)	5(△2)
障害者支援機関	-(-)	-(△1)	1(△2)	1(△3)
地域包括支援センター	-(△1)	-(-)	-(-)	-(△1)
社会福祉協議会	-(△1)	1(1)	-(△1)	1(△1)
家族・本人	-(△1)	1(-)	2(1)	3(-)
計	6(△10)	4(-)	12(△4)	22(△14)

(3) 利用者に対する支援実施状況

① サービス別利用状況

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
利用援助サービス	-(△1)	-(-)	-(-)	-(△1)
利用援助サービス+金銭管理	34(△4)	10(4)	54(10)	98(10)
利用援助サービス+預かりサービス	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
利用援助サービス+金銭管理+預かりサービス	5(-)	7(-)	4(-)	16(-)
計	39(△5)	17(4)	58(10)	114(9)

② 性別・世帯状況・生活の場所

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
性別	男性	20(-)	11 (2)	37 (9)	68 (11)
	女性	19(△5)	6 (2)	21 (1)	46 (△2)
世帯	単身者	38(△1)	10 (3)	50 (6)	98 (8)
	夫婦	-(△4)	-(-)	-(-)	-(△4)
	その他	1(-)	7 (1)	8 (4)	16 (5)

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
生活の場所	在宅	27(1)	15(3)	46(7)	88(11)
	グループホーム	6(-)	2(1)	-(-)	8(1)
	福祉施設	4(△5)	-(-)	7(2)	11(△3)
	病院	2(△1)	-(-)	5(1)	7(-)

※福祉施設：特別養護老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、ケアホーム

③ 経済状況

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
経済状況	生活保護世帯	27(△6)	11(2)	45(7)	83(3)
	所得税非課税世帯	12(1)	5(2)	12(2)	29(5)
	所得税課税世帯	-(-)	1(-)	1(1)	2(1)

④ 支援計画に基づく1か月あたりの支援回数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
週1回	1(-)	4(1)	25(2)	30(3)
月1回	31(△6)	8(2)	25(7)	64(3)
隔週	-(-)	1(-)	4(1)	5(1)
月2回	7(1)	4(1)	4(-)	15(2)

(5) 利用者に関する相談・問合せ件数

① 相談・問合せ延べ件数

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
89(△21)	314(△19)	1,444(502)	1,847(462)

② 相談・問合せ方法

電話	来所	訪問	計
1,722(404)	111(60)	14(△2)	1,847(462)

③ 相談経路内訳

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本人	34(23)	303(△7)	1,389(524)	1,726(540)
家族	3(△9)	1(△9)	16(△9)	20(△27)
知人	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
民生委員・児童委員	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
介護保険施設	35(△42)	1(1)	8(△6)	44(△47)
その他福祉施設	2(△3)	4(-)	6(5)	12(2)
専門相談機関	5(4)	2(△1)	7(△9)	14(△6)

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
行政	7 (6)	-(△1)	4 (△1)	11 (4)
医療機関	2 (1)	1 (△1)	13 (△3)	16 (△3)
その他	1 (△1)	2 (△1)	1 (1)	4 (△1)
計	89 (△21)	314 (△19)	1,444 (502)	1,847 (462)

④ 相談・問合せ内容

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
福祉サービス利用援助	6 (4)	3 (-)	36 (18)	45 (22)
日常的な金銭管理	64 (△22)	237 (△14)	1,031 (251)	1,332 (215)
書類などの預かり	1 (1)	1 (1)	6 (6)	8 (8)
その他生活相談	16 (△2)	73 (△6)	370 (227)	459 (219)
成年後見制度関連	2 (△2)	- (-)	1 (-)	3 (△2)
計	89 (△21)	314 (△19)	1,444 (502)	1,847 (462)

(6) 申込相談受付・事業問合せ件数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
新規相談受付件数	9 (△11)	3 (-)	16 (3)	28 (△8)
事業問合せ件数	6 (△8)	3 (2)	5 (△4)	14 (△10)

23. 善意銀行事業

市民・団体から寄せられた金品を預かり、必要としている方へ払い出しを行っています。

(1) 預託・払出の状況

① 現金預託・払出の実施状況

預託 3件 預託金額 84,519 円(△12,447 円)

払出 3件 払出金額 84,519 円(△32,447 円)

※平成 30 年 3 月 31 日現在の残高金額 1,497,626 円

② 物品預託・払出の実施状況

	件数	点数	主な品名
預託	50 (6)	60 (7)	物品 20 件 手押し車、紙おむつ、男性用下着、タオル、ハンカチ、タイツ、靴下、車イス(介助式、自走式)、シャワーチェア、本、杖、ポータブルトイレ、自転車
			食品 30 件 レトルト食品、パックごはん、精米、ふりかけ、アルファ米、缶詰、コッペパン、乾燥スープ、スポーツ飲料、非常用飲料水、うどん(乾麺)、インスタント麺
払出	50 (△16)	139 (△2)	物品 12 件 手押し車、紙おむつ、電動ポータブルトイレ、車イス(介助式、自走式)、杖
			食品 38 件 インスタント麺、乾パン、缶詰、お菓子、ふりかけ、精米、コッペパン、スポーツ飲料、非常用飲料水、レトルト食品、パックごはん、アルファ米

※ 預託・払出の実施状況のうち、地域貢献委員会加入施設から食品の預託 28 件、払出 34 件を実施

(2) 災害時用備蓄品【食糧】の提供に関する協定書

市が災害時用に備蓄している食糧の更新を行う際に、生活困窮者への支援として食糧の提供を受けるために必要な事項を定め協定を締結した。

協定書締結日 4 月 1 日

24. 法人運営・基盤強化事業

住民を主体とした地域福祉を推進する法人として、経営基盤・運営基盤の強化・発展を図ります。

(1) 法人運営事業

① 役員会・理事会の開催（開催回数：役員会 12 回・理事会 10 回）

第 1 回	役員会	4 月 20 日（木）	出席：役員 4 人
第 1 回	理事会	4 月 25 日（火）	出席：理事 18 人・監事 2 人

報 告

〔1〕事務局職員人事異動について

議 案

- 〔1〕役員改選に伴う退任者の処遇について
- 〔2〕運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について
- 〔3〕敬老記念式典における表彰者の推薦要領について
- 〔4〕まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について

報 告

- 〔1〕会員募集中間報告について
- 〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕委員会報告

第 2 回	役員会	5 月 11 日（木）	出席：役員 4 人
第 2 回	理事会	5 月 25 日（木）	出席：理事 18 人・監事 2 人

議 案

- 〔1〕顧問選任規程の一部改正について
- 〔2〕会員規程の一部改正について
- 〔3〕専門委員会規程の一部改正について
- 〔4〕校区福祉委員会規程の一部改正について
- 〔5〕事務局組織及び職員設置規程の一部改正について
- 〔6〕事務局職員旅費規程の全部改正について
- 〔7〕平成 28 年度事業報告認定について
- 〔8〕平成 28 年度社会福祉事業決算報告認定について
- 〔9〕平成 28 年度公益事業決算報告認定について

【平成 28 年度監査報告】

- 〔10〕評議員候補者について
- 〔11〕定時評議員会について
- 〔12〕第 1 回家族介護者交流事業開催要項について
- 〔13〕地域福祉活動計画策定委員会設置要綱について

報 告

- 〔1〕理事候補者の変更について
- 〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について

- 〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕委員会報告

臨時理事会 6月15日（木） 出席：理事20人・監事2人

案 件

- 〔1〕会長・副会長及び常務理事の選定について

第3回 役員会 6月21日（水） 出席：役員4人
第3回 理事会 6月26日（月） 出席：理事19人・監事2人

議 案

- 〔1〕理事会の議長の互選について
- 〔2〕事務決裁規程の一部改正について
- 〔3〕事務局職員就業規則の一部改正について
- 〔4〕有期労働契約職員就業規則の一部改正について
- 〔5〕各種専門委員会委員の選任について
- 〔6〕評議員候補者の推薦について
- 〔7〕役員改選に伴う退任者の処遇について
- 〔8〕「運転協力者現任研修会」開催要項について
- 〔9〕敬老記念式典における表彰者の推薦について

報 告

- 〔1〕ひとり暮らし高齢者数について
- 〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕後援承認について
- 〔6〕委員会報告

第4回 役員会 7月18日（火） 出席：役員4人
第4回 理事会 7月25日（火） 出席：理事18人・監事2人

議 案

- 〔1〕事務局職員の育児休業等に関する規程の一部改正について
- 〔2〕歳末たすけあい運動実施要項について
- 〔3〕ねやがわ市民ふくし講座「助けられ上手になろう！」～今日からできるアンガーマネジメント～開催要項について

報 告

- 〔1〕敬老記念式典における表彰者の決定について
- 〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について（6月報告受付件数0件）
- 〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について（6月申請給付件数0件）
- 〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕後援承認について
- 〔6〕委員会報告

第5回 役員会 8月25日(金) 出席:役員4人

議 案

- [1] 役員及び評議員研修会開催要項について
- [2] 第2回家族介護者交流事業開催要項について
- [3] 「介護予防サポーター実力向上研修」開催要項について
- [4] ボランティア講座基礎Ⅰ「珈琲の美味しい淹れ方講座」開催要項について
- [5] ボランティア講座基礎Ⅰ「ようこそ!くすねキッチンへ」～作って、食べて、おしゃべりも♪～開催要項について
- [6] 災害に備えた「要援護者にやさしい地域づくり」を目指して寝屋川市社会福祉協議会の取り組み方針について

報 告

- [1] ひとり暮らし高齢者調査修正報告について
- [2] 緊急時安否確認に関する状況把握について
- [3] 生活緊急支援金給付状況の報告について
- [4] 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- [5] 後援承認について
- [6] 障害福祉課からの依頼「ひきこもり」について考える市民セミナーの開催について
- [7] 委員会報告

第6回 役員会 9月19日(火) 出席:役員4人

第5回 理事会 9月25日(月) 出席:理事20人・監事2人

議 案

- [1] 役員及び評議員研修会開催要項について
- [2] 第2回家族介護者交流事業開催要項について
- [3] ボランティア講座基礎Ⅰ「ようこそ!くすねキッチンへ」～作って、食べて、おしゃべりも♪～開催要項について
- [4] ボランティア講座基礎Ⅰ「身近なことから始める!ボランティアを楽しむコツ講座」～あなたの気持ち、後押しします～開催要項について
- [5] ボランティア講座基礎Ⅱ『音楽』の力を知る講座～ボランティアに新しい風を!サロン de マンボ♪～開催要項について
- [6] 福祉広報研修会「読まれる・伝わる広報紙をつくろう」～地域の魅力を発信し、愛される広報紙に～開催要項について

報 告

- [1] ひとり暮らし高齢者調査修正報告について
- [2] 「介護予防サポーター実力向上研修」開催要項について
- [3] ボランティア講座基礎Ⅰ「珈琲の美味しい淹れ方講座」開催要項について
- [4] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [5] 生活緊急支援金給付状況の報告について
- [6] 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- [7] 後援承認について
- [8] 委員会報告

第7回	役員会	10月17日(火)	出席：役員4人
第6回	理事会	10月25日(水)	出席：理事18人・監事2人

議 案

- 〔1〕平成30年度社会福祉協議会会員募集実施要項について
- 〔2〕まちかど福祉相談員現任研修会「誰もが安心して暮らせる地域へ」～がん患者の地域生活を支える視点から～開催要項について
- 〔3〕校区福祉委員指導者研修会「地域福祉活動のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう その2」開催要項について
- 〔4〕災害に備えた「要配慮者にやさしい地域づくり」を目指して

報 告

- 〔1〕会長及び常務理事職務執行状況報告について（4～9月分）
- 〔2〕歳末たすけあい運動街頭募金の日程について
- 〔3〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔4〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔5〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔6〕委員会報告

第8回	役員会	11月15日(水)	出席：役員4人
第7回	理事会	11月27日(月)	出席：理事18人・監事2人

監査報告

- 〔1〕中間監査報告について

議 案

- 〔2〕第3回家族介護者交流事業開催要項について
- 〔3〕歳末たすけあい運動募金配分計画について
- 〔4〕「寝屋川市福祉のまちづくり会議（仮称）」開催要項について

報告事項

- 〔1〕寝屋川市地域福祉活動計画策定の進捗状況について（中間報告）
- 〔2〕緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕後援承認について
- 〔6〕委員会報告
- 〔7〕校区福祉委員指導者研修会「地域福祉活動のタテ・ヨコ・ナナメ連携を考えよう その2」の日程変更について

第9回	役員会	12月18日(月)	出席：役員4人
第8回	理事会	12月25日(月)	出席：理事17人・監事2人

議案事項

- 〔1〕災害に備えた地域づくり講座「自分たちにあった災害対策をするには～熊本の教訓を生かす～」開催要項について
- 〔2〕子育てサロン担当者交流会～地域の親子に愛される場所へ～開催要項について

〔3〕 ボランティア講座シニア編「自助具制作」ボランティア講座～自助具は生活のパートナー～開催要項について

〔4〕 生活困窮者自立支援事業実践報告会開催要項について

報 告

〔1〕 歳末たすけあい運動の街頭募金の実績報告について

〔2〕 移送サービス事業の現状について

〔3〕 緊急時安否確認に関する状況報告について

〔4〕 生活緊急支援金給付状況の報告について（11 月申請給付件数 0 件）

〔5〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔6〕 後援承認について

〔7〕 委員会報告

その他

〔1〕 障害福祉課より「精神障害者理解促進研修の開催について」のチラシ配布について

〔2〕 子育て支援課より「ねやがわ☆子育てスタート応援クーポン」のチラシ配布について

〔3〕 Club E&T より「第 3 回寝屋川ハート・アート展」のチラシ配布について

第 10 回 役員会 1 月 25 日（木） 出席：役員 3 人

議 案

〔1〕 平成 30 年度ひとり暮らし高齢者調査実施要項について

報 告

〔1〕 歳末たすけあい運動募金実績報告について

〔2〕 緊急時安否確認に関する状況報告について

〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について

〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔5〕 後援承認について

〔6〕 委員会報告

第 11 回 役員会 2 月 19 日（月） 出席：役員 4 人

第 9 回 理事会 2 月 26 日（月） 出席：理事 19 人・監事 1 人

議 案

〔1〕 平成 30 年度ひとり暮らし高齢者調査実施要項について

報 告

〔1〕 歳末たすけあい運動募金実施報告について

〔2〕 平成 30 年度福祉学習説明会の開催について

〔3〕 緊急時安否確認に関する状況報告について

〔4〕 生活緊急支援金給付状況の報告について

〔5〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔6〕 後援承認について

〔7〕 平成 30 年度年間行事予定・地域献血日程について

〔8〕 委員会報告

第 12 回 役員会 3 月 9 日（金） 出席：役員 4 人

第 10 回 理事会 3 月 15 日（木） 出席：理事 20 人・監事 2 人
--

議 案

- [1] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について
- [2] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会有期労働契約職員就業規則の全部改正について
- [3] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
- [4] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員の退職手当に関する規程の一部改正について
- [5] 第2次寝屋川市地域福祉活動計画について
- [6] 平成30年度事業計画について
- [7] 平成30年度社会福祉事業予算について
- [8] 平成30年度公益事業予算について
- [9] 平成30年度災害に備えた地域づくり講座「マイ防災プランをつくって備えよう」～災害時要配慮者と地域が災害対策に取り組むために～開催要項について

報 告

- [1] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [2] 生活緊急支援金給付状況の報告について
- [3] 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- [4] 後援承認について
- [5] 委員会報告

② 評議員会の開催（開催回数：2回）

第1回 評議員会 6月14日（水）

出席： 評議員 46人・理事 19人・監事 2人

議 案

- [1] 平成28年度事業報告承認について
- [2] 平成28年度社会福祉事業決算報告承認について
- [3] 平成28年度公益事業決算報告承認について
- 【平成28年度監査報告】
- [4] 役員（理事・監事）の選任について

第2回 評議員会 3月29日（木）

出席： 評議員 38人・理事 20人・監事 1人

議 案

- [1] 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について
- [2] 第2次寝屋川市地域福祉活動計画について
- [3] 平成30年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業計画について
- [4] 平成30年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業予算について
- [5] 平成30年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会公益事業予算について

報 告

- [1] 緊急時安否確認に関する状況報告について
- [2] 平成30年度年間行事予定・地域献血日程について

③ 役員・評議員候補者選任区分別会議の開催（開催回数：1回）

一部校区福祉委員会で校区福祉委員長の交代のため行った。

【区分1】校区福祉委員会 5月10日（水）第1研修室 出席：22人

④ 評議員選任・解任委員会の開催（開催回数：2回）

改正後の定款に基づき、評議員選任・解任委員会を新たに設置し、評議員の選任を行った。

第1回 5月29日（月） 出席3人

第2回 7月25日（火） 出席3人

⑤ 社協運営委員会の開催（開催回数：3回）

社協の運営にかかわる諸問題のうち、会長が運営委員会での検討を要すると認めた事項について、その課題解決の方向性等について検討し、必要に応じて役員会に報告又は提案を行います。

第1回 5月10日（水） 出席7人

議案

〔1〕地域福祉活動計画策定委員会について

第2回 11月10日（金） 出席6人

議案

〔1〕平成29年度歳末たすけあい運動募金配分計画について

第3回 2月16日（金） 出席7人

議案

〔1〕平成29年度福祉基金利息運用について

〔2〕歳末たすけあい運動配分の見直しについて

〔3〕平成30年度ふたり暮らし世帯（老老介護世帯等）の調査について

〔4〕地域貢献委員会の取り組みについて（報告）

⑥ 組織構成会員募集の実施

地域の各種団体や福祉関係者の参加を得て地域福祉活動を広範にすすめていくために組織構成会員を募集し、157の団体や施設の加入を得ました。

(2) 地域貢献委員会の運営支援

組織構成会員の社会福祉法人46団体で構成される地域貢献委員会の事務局を担い、運営の支援を行います。

① 役員会の開催（開催回数：4回）

第1回 5月15日（月） 出席：6人

議案

〔1〕地域貢献委員会研修会について

〔2〕今後の活動について

〔3〕生活困窮者支援の進捗状況について

〔4〕その他

第2回 6月13日(火) 出席：6人

議 案

- 〔1〕 地域貢献委員会研修会について
- 〔2〕 生活困窮者支援の進捗状況について

第3回 7月26日(水) 出席：6人

議 案

- 〔1〕 大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会（施設連絡会）との連携推進モデル事業について
- 〔2〕 地域貢献委員会研修会について
- 〔3〕 生活困窮者支援の進捗状況について

第4回 11月21日(火) 出席：6人

議 案

- 〔1〕 地域貢献委員会研修会について(最終確認)
- 〔2〕 生活困窮者支援の進捗状況について
- 〔3〕 その他

② 企画委員会の開催（開催回数：8回）

第1回 8月16日(水) 出席：12人

議 案

- 〔1〕 企画委員の紹介
- 〔2〕 これまでの経過と大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会（施設連絡会）との連携推進モデル事業の企画説明について
- 〔3〕 今後のスケジュールの検討
- 〔4〕 その他

第2回 10月3日(火) 出席：12人

議 案

- 〔1〕 各分野からの報告
- 〔2〕 今後のスケジュール
- 〔3〕 その他

第3回 10月26日(木) 出席：10人

議 案

- 〔1〕 会場の確認について（レイアウト等）
- 〔2〕 モデル事業のPRについて
- 〔3〕 各分野からの報告について

第4回 11月29日(水) 出席：11人

議 案

- 〔1〕 各分野からの報告について

第5回 1月12日(金) 出席：10人

議 案

- 〔1〕 “チョット寄ってん家” オープンについて（最終確認）

第6回 2月5日(月) 出席：9人

議 案

〔1〕 “チョット寄ってん家” オープン後の経過について

〔2〕 今後の展開について

第7回 2月28日（水） 出席：9人

議 案

〔1〕 “チョット寄ってん家” の今後の展開について

〔2〕 定期総会について

〔3〕 会計監査の日程調整

〔4〕 生活困窮者支援の進捗状況について

第8回 3月20日（火） 出席：10人

議 案

〔1〕 平成30年度の取り組みについて（“チョット寄ってん家”）

〔2〕 定期総会について（3月30日開催）

③ 研修会の実施（開催回数：1回） ※アウトリーチ型研修助成金を活用して実施

開催日 11月29日（水）

場 所 総合センター4階 第2研修室

内 容 「安心して暮らせる地域（まち）づくりをめざして」

講 師 公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士 堀田 力 氏

参加者 42人（30法人）

④ 生活困窮者支援報告会の実施

開催日 8月23日（水）

場 所 保健福祉センター5階 研修室5

内 容 食品支援や就労支援等の実施状況の報告・意見交換など

参加施設数：22施設

⑤ “チョット寄ってん家” の取り組み ※「大阪しあわせネットワークと地域貢献委員会との連携推進モデル事業」助成金を活用して実施

実施時期 1月15日（月）～3月23日（金）（土日祝日除く）

時 間 午後1時から午後6時まで

場 所 桜撫庵 長屋門スペース

内 容 ①児童分野・・・保育園児の作品展示と福祉相談（スマイルポーター）

②高齢分野・・・福祉相談と施設入所者の作品展示

③障害分野・・・障害者作業所で作成した物品の販売

来店者数：580人 相談件数：3件 協力スタッフ数：155人

※オープニングセレモニー

1月15日 午後1時～1時30分

来賓（寝屋川市長、大阪府社会福祉協議会常務理事他）

参加者 80人

⑥ 総会の開催

開催日 3月30日（金）

場 所 総合センター4階 第2研修室

- 内 容
- 〔1〕平成 29 年度 事業報告について
 - 〔2〕平成 29 年度 決算報告について
 - 〔3〕平成 29 年度 会計監査報告
 - 〔4〕平成 30 年度 事業計画（案）について
 - 〔5〕平成 30 年度 予算（案）について

(3) 財源確保事業

① 会員募集の実施

〔1〕住民賛助会費 18,635,816 円（△121,395 円）

〈住民賛助会員：会員区分別金額・口数表〉

（金額単位：円）

区分	一 般	特 別	賛 助	特別賛助	名 誉	特別名誉	協力費	計
金額	10,474,500	1,019,000	310,000	468,000	355,000	550,000	5,459,316	18,635,816
口数	20,949	1,019	155	156	71	53		22,403

〔2〕組織構成会員会費 735,000 円（前年比 -円）

（法人 117・未法人 30：計 147 事業所・団体）

② その他財源確保に関する取り組みの実施

〔1〕福祉基金（目標額：3 億円）

平成 28 年度末の福祉基金額 214,465,442 円

平成 29 年度基金の積立額 2,189,010 円（寄附件数 2 件：利息分含む）

平成 30 年 3 月末の福祉基金額 216,654,452 円

〔2〕一般寄附金

平成 29 年度の寄附金額 128,446 円（寄附件数 14 件）

(4) 実習生の受入れ

社会福祉士資格取得を目指す学生の受入れを行いました。

大阪市立大学 1 人

関西大学 1 人

大阪国際福祉専門学校 1 人 計 3 人

25. 研修事業

地域福祉を推進するため最新の福祉施策や制度・サービス、地域福祉活動の動向を学び、本市の地域福祉活動に活かすことを目的に実施又は参加しました。

(1) 役員（理事・監事）・評議員研修

① 社会福祉法人監事研修会への参加

開催日 12月19日（火）

場 所 大阪社会福祉指導センター

内 容 講義「社会福祉法人監事の役割と責任」他

参加者 1人

② 役員（理事・監事）・評議員研修の実施

開催日 10月24日（火）

場 所 総合センター4階 第2研修室

内 容 「改正社会福祉法での理事・監事・評議員の役割について」

参加者 43人

(2) 職員研修

① 総務課、地域福祉課、生活支援課共通

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
1	日本地域福祉学会第31回大会	2	1
2	社会福祉法人会計の簿記中級講座	6	1
3	市町村社会福祉協議会総務担当職員会議	1	2
4	日常生活自立支援事業新任者研修会	2	3
5	アルコール健康対策リーダー研修会	1	4
6	地域包括支援センター新任職員総合事業研修	1	4
7	関西医大多職種連携研修会	1	1
8	大阪府介護情報・研修センター研修（認知症ケア）	1	2
9	大阪府介護情報・研修センター研修（相談援助）	1	1
10	在宅医と共に学ぶ研修会	1	3
11	大阪府介護情報・研修センター研修（成年後見）	1	2
12	高齢者・障害者と権利擁護支援と成年後見研修	1	1
13	防災における医療、福祉の連携研修	1	1
14	認知症の方へのリハビリと予防研修	1	1
15	介護保険制度における住宅改修研修	1	1
16	地域包括支援センター基礎研修	2	1
17	生活困窮者自立支援制度人材養成研修	3	1
18	大阪府生活困窮者自立支援制度従事者研修	2	2
19	生活困窮者相談に役立つ法律の基礎研修会	1	1
20	セミナー「ソーシャルワークの新たな展開」	2	3

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
21	大阪府借金相談に係る研修会	1	1
22	E コミュニティプラットフォーム操作研修会	2	2
23	府災害時医療連携・保健活動情報伝達訓練	1	3
24	総合的な福祉教育実践研究会	3	2
25	全国福祉教育推進セミナー	2	1
26	面接相談援助技術基礎講座	2	2
27	社会福祉法人監事研修会	1	1
28	心を高める認知症ケアの基本姿勢を学ぶ	1	1
29	地域包括支援センター職員向け高齢者虐待対応研修	1	3
30	在宅ケア研究会「在宅医と共に学ぶ」	1	2
31	地域支援事業に係る研修会	1	3
32	北河内圏域心疾患医療ネットワーク多職種連携研修会	1	1
33	寝屋川市地域ケア研究会	1	2
34	「認知症を考える」研修会	1	2
35	高齢者虐待防止・対応の体制整備促進に関する研修会	1	1
36	薬物・ギャンブル依存研修	3	3
37	日常生活自立支援事業報告会	1	1
38	成年後見制度の実際について	1	3
39	市町村就職困難者就労支援担当職員等研修会	1	1
40	大阪府生活困窮者自立支援制度従事者研修	2	2
41	全国子ども・若者フォーラム in OSAKA	1	2
42	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	2	1
43	債務整理及び生活再建問題研修会	1	1
44	生活困窮者自立支援事業（家計支援）研修	1	15
計		65	92

26. 福利厚生事業

市民へのサービスと職員の福利厚生を図るとともに自主財源の確保を目的に、総合センター内において食堂「虹」の運営等を行っています。

(1) 食堂「虹」の運営

【月別運営状況】

月	4	5	6	7	8	9
営業日数 (日)	24 (△1)	25 (1)	27 (-)	25 (△1)	23 (-)	25 (-)
来店者数 (人)	2,718 (119)	2,938 (△76)	3,564 (253)	2,936 (△349)	2,535 (63)	2,959 (△29)
営業収入 (円)	1,834,885 (45,655)	2,025,210 (20,780)	2,531,160 (284,990)	2,056,535 (△125,755)	1,746,800 (48,070)	2,046,895 (11,230)

月	10	11	12	1	2	3	合計
営業日数 (日)	25 (△2)	25 (2)	24 (-)	23 (-)	23 (-)	27 (-)	298 (△1)
来店者数 (人)	2,778 (△405)	3,447 (87)	2,500 (△310)	2,393 (△49)	2,695 (△483)	3,273 (△504)	34,736 (△1,683)
営業収入 (円)	1,947,800 (△311,450)	2,416,620 (60,420)	1,757,830 (△223,690)	1,745,105 (26,015)	1,931,675 (△275,960)	2,471,700 (△231,480)	24,512,215 (△671,175)

(2) 自動販売機設置 7台（総合センター1階：5台、2階：1台、4階：1台）

27. 大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営

赤い羽根共同募金運動の実施、共同募金配分申請の受付事務等を行っています。

(1) 共同募金配分申請の受付

共同募金配分申請について周知し、施設・団体等から申請の受付を行いました。

周知 機関紙「虹」（5月1日号）

受付件数 1件

(2) 共同募金配分決定

配分件数 1件

28. 災害被災地支援活動

平成29年7月九州北部豪雨に対する募金箱設置を行いました。

29. 地域福祉活動計画の策定

地域福祉活動計画を策定しました。また、策定にあたり、策定委員会の開催、協力機関へのヒアリング、寝屋川市福祉のまちづくり広場の開催、事務局検討会議を実施しました。

(1) 地域福祉活動計画策定委員会の開催（開催回数 5回）

策定委員会は、校区福祉委員会、自治推進協議会、民生委員児童委員協議会などの住民組織や、ボランティアセンター運営委員会、当事者団体、NPO など、市内の地域福祉活動の中心的な役割を担っている団体の代表者と、寝屋川市地域貢献委員会の代表、関係行政機関の職員、学識経験者など、16人の委員で構成しました。計5回の策定委員会で計画内容の検討や「寝屋川市福祉のまちづくり会議」の検討など、計画を最終的に決定する役割を担いました。

第1回 7月7日（金） 13人出席

- (1) 委員長・副委員長の選出
- (2) 地域福祉活動計画策定の趣旨・経緯について
- (3) 地域福祉活動計画について
- (4) 今後のスケジュール及びヒアリング候補について

第2回 8月22日（火） 16人出席

- (1) 第1回策定委員会の振り返り
- (2) 今後のスケジュールについて
- (3) ヒアリングについて
- (4) 地域課題について
- (5) 第3回策定委員会に向けて

第3回 11月13日（月） 13人出席

- (1) 第2回策定委員会の振り返り
- (2) ヒアリング進捗状況報告
- (3) 寝屋川市福祉のまちづくり会議（仮称）の開催について
- (4) 地域福祉活動計画の骨子（案）について
- (5) 今後のスケジュールについて

第4回 2月8日（木） 16人出席

- (1) 第3回策定委員会の振り返り
- (2) ヒアリング調査結果の概要報告
- (3) 寝屋川市福祉のまちづくり会議の実施報告
- (4) 地域福祉活動計画の骨子（案）について
- (5) 今後のスケジュールについて

第5回 3月2日（金） 15人出席

- (1) 第4回策定委員会の振り返り
- (2) 地域福祉活動計画（案）について

(3) 今後のスケジュールについて

(2) ヒアリングの実施

地域福祉活動に取り組んでいる各団体、社会福祉施設、関係機関の抱える現状及び課題、地域との連携等を把握するためにヒアリングを実施しました。

(1) 実施期間 9月～12月

(2) 実施団体数 26 か所

開催日	団体名	会場
9月22日	ひきこもり家族交流会（家族会）	保健所
9月29日	NPO法人芽ばえ	芽ばえ拠点
10月6日	民間保育所協議会	保健福祉センター
10月11日	ひきこもり家族交流会（支援者）	社協ボランティアセンター
10月18日	青少年の居場所「スマイル」・「ハピネス」	池の里市民交流センター
10月19日	NPO 法人寝屋川市国際交流協会（NIEFA）	市民会館
10月20日	市老人クラブ連合会	中央高齢者福祉センター
10月30日	(社福)光輝会 隆光学園 (社福)光輝会 輝きステーション	(社福)光輝会 隆光学園
10月30日	民生委員児童委員協議会	保健福祉センター
11月1日	(社福)みつわ会 ブリーゼ	(社福)みつわ会 ブリーゼ
11月6日	市政協力委員自治推進協議会	社協会議室
11月6日	(社福)豊親福祉会 チャレンジドセンター つばさ・つばさ福祉作業所	(社福)豊親福祉会 チャレンジドセンター つばさ・つばさ福祉作業所
11月8日	校区福祉委員会	総合センター
11月9日	ボランティアセンター運営委員会	社協会議室
11月9日	(社福)讃良福祉会 小路北町作業所	(社福)讃良福祉会 小路北町作業所
11月10日	ひきこもり家族交流会（元当事者）	社協面談室
11月21日	(社福)療育・自立センター 療育センター あかつき園・ひばり園・第2ひばり園	(社福)療育・自立センター 療育センター あかつき園・ひばり園・第2ひばり園
11月21日	(社福)たちばな会 特別養護老人ホーム 寝屋川石津園	(社福)たちばな会 特別養護老人ホーム 寝屋川石津園
11月22日	(社福)聖森会 かわかつのさと	(社福)聖森会 かわかつのさと
11月27日	(社福)いわき会 特別養護老人ホーム 和の里	(社福)いわき会 特別養護老人ホーム 和の里
11月28日	(社福)療育・自立センター 短期入所施設 大谷の里	(社福)療育・自立センター 短期入所施設 大谷の里

開催日	団体名	会場
11月30日	商業団体連合会	商業団体連合会事務所
12月6日	(社福)月の輪学院 月の輪学院	(社福)月の輪学院 月の輪学院
12月6日	(社福)香西会 特別養護老人ホーム香西園	(社福)香西会 特別養護老人ホーム香西園
12月12日	(社福)栄光会 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園	(社福)栄光会 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園
12月12日	地域包括支援センター	保健福祉センター
12月18日	(社福)百丈山合掌荘 特別養護老人ホーム合掌荘	(社福)百丈山合掌荘 特別養護老人ホーム合掌荘

(3) 寝屋川市福祉のまちづくり会議の開催

ヒアリングに協力していただいた団体に対してヒアリング報告をするとともに、連携、協働の意味を改めて考え、これからの連携のあり方について意見交換しました。

開催日 1月31日(水)

会場 保健福祉センター5階 多目的室

参加者数 34人

内容 ヒアリングの報告及び課題解決と連携づくりのための話し合い

- ・お話し：連携と協働のチカラって?! (所めぐみ策定委員長)
- ・お話し：連携と協働のチカラをイメージしよう! 他市の取り組み紹介
- ・グループワーク「ホネで語ろう～これからの連携のあり方 YES or NO～」

(4) 事務局検討会議の開催(開催回数: 60回)

社協事務局の職員が中心となって検討会議を開きました。学識経験者の力を借りながら、市民の目線でわかりやすい計画にすること、計画の推進役となる社協職員としての思いを盛り込むことを大切にして議論を重ね、この計画の案をまとめました。